京城日報

二十八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
廣告料
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
印刷人 小川三之助

○程壁光福州攻擊か 第一艦隊を率ゐて

廣東軍政府に屬したる程壁光氏の率うる第一艦隊は窃かに廣東を發して福州に向へり、是れ福州攻擊の爲めなりと觀測せらる（北京特電）

○コ將軍擧兵は誤解から 露國前陸相の說明

露國前陸相サヴィンコフ氏はブール、ヂゼット紙上に說明して曰くコルニロフ將軍の謀叛は事誤解に基く、予（サヴィンコフ氏）がコルニロフ將軍の改革案に就いてケレンスキー氏の同意を得、叉た過激派の紛擾に備へんが爲め露都に騎兵隊を送り呉れよとのケレンスキー氏の希望に就てコルニロフ將軍の承認を得たる後前首相リヴオフ氏はコルニロフ將軍に向ひケレンスキー氏は**ケレンスキー、コルニロフ、サヴィンコフ**三氏を主として執政官政治を採用せんと報告せりと告げ**コルニロフ將軍**は之に同意なる旨を回答せり、然るにリヴオフ氏は其の後に至りて自ら執筆したる最後の通牒を**ケレンスキー**氏に交附せるが同通牒はコルニロフ將軍に政權を讓り渡すべしと要求せるものなりしが故にケレンスキー氏は直にコルニロフ將軍に電報を發して貴下を代表せりと云ふリヴオフ氏の言は貴下の承知せる所なりやとの問合せをなせるに**リヴオフ**氏の最後の通牒に就て何事をも承知せざる**コルニロフ將軍**は然りと答へたり、是に於てケレンスキー氏はコルニロフ將軍を免職したる爲めコルニロフ將軍は憤慨して兵を擧げたるものなりと（露都電報）

○莫斯科遷都準備

露國內務省は首都移轉に關する準備をなしつゝあり、多分莫斯科に移轉せらるゝならむ（露都電報）

○法王猶講和斡旋か

獨逸の回答を接授したる羅馬法王は猶引續き講和斡旋の交渉を爲す事可能なりと思惟し居れり（羅馬電報）

○獨逸の回答と輿論 大體に於て滿足を表す

羅馬法王に送れる獨逸の回答に對し同國內の輿論は大體に於て滿足の意を表し居るもの〻如し硬派側は此の回答文中に白耳義其他領土問題に關する何等の明言なきに安心し又軟派側は政府が國民の代表者と相談せる事及び議會の平和決議に贊成せることを回答文中に記載せるを歡び是れ當局が議會多數の意見を基礎とする證據なりと唱へ又今回の回答中に獨逸が兵備制限仲裁々判に同意せるは一般に非常なる注意を喚起し二三の有力新聞紙は敵は最早獨逸の軍國主義を攻擊することは能はざる可しと論じつゝあり（ベルン電報）

○獨逸白國還附意嚮

海牙來電＝獨逸は獨逸植民地の恢復を條件として白耳義を還附する意嚮ありと（紐育電報）

○イープル英軍著しく進出

二十六日朝英軍はイープルの東方にある廣大なる戰線を攻擊して著しく前進したり（倫敦電報）

○米國カムチヤツカ灣買收希望

コーペンハーゲン來電＝米國政府は露國に對して莫大なる金額を以てカムチヤツカ灣を買受けたき旨申出でたりと（倫敦電報）

○七十億弗案に署名

米國大統領ウイルソン氏は一般に七十億弗案として知らるゝ軍事公債案に署名せり（紐育電報）

○米國參謀總長更迭

米國參謀總長は年齡滿限にて本月二十一日退役したるが其の後任は同次長ブリス少將と決したり參謀次長の後任は尙未定也（華盛頓電報）

○亞國近く宣戰せん

亞爾然丁共和國は本月十九日上院大多數の贊成を以て獨逸に對し國交を斷絕すべき決議案を通過したるが近き將來に於て宣戰を布告するに至らん其近因とする所は亞爾然丁駐箚獨逸公使が亞國に對し敵意を有する電報を同地駐箚瑞典公使館を介して本國に發送したること米國側より暴露せられたるに在り（華盛頓電報）

○コ國對獨斷交理由

コスタ、リカ共和國が獨逸と國交を斷絕せるは同國在留獨逸人が前大統領**コンザレス**氏と共謀し政府顚覆を企圖したる爲めなり（華盛頓電報）

○張繼駐日說

廣東軍政府は張繼を日本駐在外交代表者に任命せりと傳へらる（廣東電報）

○長岡中將著期 二十八日夜釜山上陸

陸軍中將長岡外史氏は二十八日夜連絡船對馬丸にて釜山著、二十九日午後若松釜山府尹の依賴により第一尋常小學校講堂に於て講演をなし三日間釜山に滯在の上京城に向ふ豫定なりと（釜山特電）

○德富監督消息

本社監督德富猪一郎氏は廿六、七兩日各所を遊覽視察し民間有力者記者團とも會談意見を開き廿七日張督軍とも會見し廿七日夜急行列車にて哈爾賓に直行せり（奉天特電）

◉總督廣梁灣行

二十七日西鮮巡察の途に上れる長谷川總督は同日豫定の如く鎭南浦に著二十八日廣梁灣に赴き鹽田を視察し二十八日中に鎭南浦に歸る旨其の筋に電報あり同夜は平壤に一泊二十九日午後三時南大門着特別列車にて歸京の筈なり

◉漢江橋落成宴

第一期治道漢江橋竣成記念並に漢江橋落成祝賀會は愈十月七日漢江橋畔に於て擧行の事となれり當日は午前十一時式を開き宇佐美土木局長の挨拶、中野主任技師の工事報告、長谷川總督の式辭、來賓の祝辭等ありて十一時三十分總督自ら渡橋式を行ふ可く正午食堂を開き之れと同時に一般の渡橋を許し其れより府民の催しにかゝる各種の餘興開始さるゝ筈

◉全國水道會議

第十四回全國水道會議は二十八日より大連中央公園內第四小學校を會場として開催出席者は主催者側都督府滿鐵會社より四十四名各地より三十九名來賓四名合計八十七名にして會期は一週間とし上程す可き案件は全部百二十一件なりと

豐明殿午餐會 伊國大使御招待

天皇皇后兩陛下には二十七日午後零時三十分豐明殿に出御あらせられ新任伊太利大使クサニーノ公同夫人に拜謁仰付けられ午餐會の御催しあり東伏見宮依仁親王殿下同妃周子殿下、伏見若宮博恭王殿下同妃經子殿下を御召しあり松方宮內大臣以下の諸官に御陪食仰付けられたり（東京特電）

◉棉花會社支店設置認可

日本棉花株式會社にては支店を木浦に設置す可く豫て其の筋に對し認可申請中なりしが二十七日附を以て許可の指令ありたり、同支店は資本金十萬圓を以て朝鮮に於て棉花の買賣及び繰綿業を營むと共に支店は其の本店に合併せられたる朝鮮綿業株式會社が明治四十四年以來經營し來りたる事業を繼承するものなり

◉西氷庫新驛開始 滿鐵

京城管理局にては十月一日より京元線龍山往十里間の西氷庫に新停車場（貨物積卸し設備は從來も一）を設け運輸營業を開始する事に決定したるが其の哩程は龍山より西氷庫迄二哩二分西氷庫往十里間四哩二分なり

◉京義線二等寢臺車 滿鐵京管局

にて來る十月一日より從來一等寢臺のみ聯結せし京義線の行列車に二等寢臺車を聯結する事となりたり

◉古海總長臨場

古海警務總長は赤澤副官を隨へ二十八日午後一時警官練習所に於て擧行せる第二回警部講習會修了式に臨場し一場の訓示を爲せり

◉十大將入京期

米國海軍大將ナイト氏一行五名は二十九日夕奉天發三十日午後七時三十分南大門驛着汽車にて入京一泊の上一日退京內地に向ふ可き旨其の筋に通牒ありたり

◉持地長官出發

持地長官は神田副事務官及び書記一名を隨へ二十八日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の途に就きたり歸任は十月中旬若くば下旬となるべし

◉大田理事歸連

久しく來京中の鮮銀滿洲總支配人大田理事は二十八日午後九時四十分南大門驛發列車にて歸連す

◉朝鮮內の鮮銀小額手形 野坂總督府事務官の談

朝鮮銀行の小額仕拂手形鮮內拂出し開始に付度支部の野坂事務官は曰く確的に曰ふ能はざるも現下滿洲の現在流通額二十四五萬圓と合し百萬圓を超ゆる事はあらざるべし尙ほ手形は強制通用力なく法貨たる能はざるも鮮銀は銀行券發行に準じ其の拂出しには正貨及び證券の準備をなし居れり

▲七百餘萬圓の補助貨は朝鮮內に存在し居れど銀銅貨缺乏の聲甚だ高きは仕舞ひ込みをなす者少なからず市場に實際に流通する補助貨の額は縮少せりと信ずべき理由あるに一方鮮銀券の發行は財界の繁忙期に入らんとし益々膨脹するを以て補助貨幣は最近愈々烈しからんとしつゝあり總督府よりは頻りに大藏省に對し補助貨の廻送を請求し居れど意の如く發送し來らず旁々何等か茲に補助貨不足緩和策を講ずるの必要に迫られ今回鮮銀の朝鮮に於ける仕拂手形拂出しを見るに至れり、實新

▲仕拂手形は總督府より昨年滿洲に發行を許可せしものなるが更に新に鮮銀に對し朝鮮內發行を許可したる譯に非ざるも假へば一般人士にして滿洲に持參の上之れを使用せん目的を持し其の仕拂手形を朝鮮內の鮮銀に請求し來る者あれば鮮銀は其の拂出しを行ふも支障なしと云ふ事となりたり從つて其の拂出しを受けたる者が之れを市場に流通せしめんとし又鮮銀の信用ある手形に鮮銀の刷出手形にして其の受取りを故障なく認むれば付其の取引に仕拂手形を使用するにも非ず、それらを敢て禁ぜんとするには非ず、旁々市場の取引に仕拂手形を見るに至らん、されど如斯は補助貨の缺乏より來る一時の處置にして素より補助貨の市場流通が頗る潤澤とならば手形の存在は必要を失ふべく又一般より見るも十錢廿錢五十錢の手形より同額の銀貨の方其の使用上便利に付自然手形の流通は減じ來るべし、又手形の拂出しは何等其の最高額の制限を設け居らざれど結局

◉手形流通圓滑 鮮內放出六千圓

一般の請求により二十六日より拂出しを始めたる朝鮮銀行の小額仕拂手形は二十八日午前迄の所本支店の朝鮮內放出高約六千圓にて其中の流通狀況は鮮銀拂出しものに付ては何等懸念なく極めて圓滑に取引を見居れり尙ほ仕拂手形拂出しの要求は各店共に少なからざるも何分今回の手形拂出は突發の事とて龍山印刷所の印刷力に制限あれば一般の請求に順應する能はざる模樣なれど當局にては極力其の準備を急ぎつゝあるに付十月末頃よりは其の拂出しも激增を見るべし

◉鮮銀券膨脹 四千八百萬圓臺に上る

朝鮮銀行券の發行高は其後益々膨脹し二十八日遂に四千八百萬圓に達したりと

◉京畿夏蠶狀況

大正六年度に於ける京畿道夏蠶狀況を聞くに飼養戶數三千三百二十四戶、掃立枚數三千二百二十八枚、收繭額六百九十四石を算せるが之れを前年度に對比する時は飼養戶數七百零七戶、掃立枚數四百八十五枚、收繭額百十八石の何れも增加を見たり、而して豫想に比し掃立枚數の增加せるに反し繭產額の減少せるは驪州、江華、漣川の各郡に於て病蠶發生せると豫想報告の際坡州郡の收繭高に誤算ありしの外に因り又高陽、抱川、坡州、開城の各郡に於ける飼養戶數及び掃立數前年に比し著しく減少せるは悉く飼養者豫想外に多かりし爲め發葉に不足を生じ夏蠶を見合せたるに由るものなりと

◉露支警察交涉

哈爾賓は革命以來匪徒の橫行言語に絕し生命財產の危險甚だしきより郭吉林省長は商務總會の請願に依り今後の保安維持に就き東淸鐵道長官と交涉を遂げたる結果愈々商務警察なるものを創設することに決したるが其の內容左の如し（哈爾賓）

▲哈爾賓租界內に資格ある警兵百五十人を編練す此警兵は當分吉林警務教練所卒業生を以て補用す▲警察官一名（月俸大洋百元）巡官二名（同三十元）を置く▲經費は商務總會より負擔す▲市上に警律違反者ある時は警兵之れを逮捕するの權あり▲被逮捕者にして支那人なる時は東淸鐵道警察長に交付し又支那人なる時は鐵路交涉局總辦に移送す▲警察の任用行政及警察命令の執行等は商務總會の認可を受けて後始めて有效とす▲警兵の布置は商務總會より其地點を指定す

◉大連より啓上 九月廿五日 通信員

▼宮尾長官全快 都督府民政長官宮尾舜治氏は去十八日以來病氣にて滿鐵大連醫院へ入院加養中なりしが二十五日全快退院し旅順へ歸任せり尙ほ宮尾氏は近く各州管內巡視の筈なりしも事務の都合上少しく延期すべし

▼堀內中將來連 青島戰役の勇將として其の名隱れなき堀內文次郎中將は二十四日入港の中丸にて大連に來著、官民各所を訪問して市中を視察せるが氏の靜修養は近來益よ堂に入れる由

▼大谷光瑞師講演 南洋より來遊せる大谷光瑞師は旅順大連の秋氣が頗る肌に心地好しとて悠々自適せるが過日大連の南滿洲工業學校に於て得意の南洋觀あり尙ほ滿鐵は近く同師を聘し約三日間に亙つて佛敎の奧義に亙れる大講演を依賴すべく交涉中なり

◉商業會議所移轉 京城

府廳は從來廳舍狹隘を感じ屢々內部の模樣替及び一部の增築等に依り僅かに彌縫策を執り來れるも近時下水調查其他の爲め益々廳內の狹隘を感ずること急なるものあれば今回京城商業會議所に貸與しある建物を引揚げ事務分室と爲すに決し會議所に其の明渡方を要求したれば會議所は近く他に移轉する筈なりと

◉警部講習修了式 警官

練習所にては二十八日午後一時第二期內地人警部講習會修了式擧行松井所長は講習員に對し其々修了證書を授與せり總監部よりは古海總長以下各課長關係課員列席し本町鍾路兩署長及び道警務部よりは吉田神崎兩警視等列席せり因みに該講習會出席の警部一同は同四時憲兵隊將校集會所に於ける古海總長の茶菓の饗應を受く

▼スミス飛行交涉

二十日鐵嶺より來れるスミス氏は當地の官民有志を歷訪し且つ飛行に對する交涉をなせるも大連は要塞地帶なりとて當地の飛行を許されず大連と旅順との中間にある金州城子なれば差支なしとのことなれど其れにては到底觀客の滿足を得難かるべしとて更にスミス氏は旅順要塞司令部に至り交涉請願中なり尙ほ同氏は二十五日夜大連青年會館に於て飛行講演をなせり

▲取引紛擾事件 大連重要

物產取引所の取引紛擾事件は今以て解決つかず賣買者双方とも調停を謝絕して各々捨身の態度に出で之を處分すべき取引所及び信託會社に種々の情弊ありて斷行すること能はず二十四日信託會社の專務取締役柴田虎太郎常務取締役野津孝次郎の兩氏は正式に辭表を提出し跡は相生、原田兩取締役日勤して善後の策を講じつゝあり其結果兩氏の意見通り處分することを得べき立場となりたれども兩氏とも成るべく穩便に解決せしめ度き模樣なれば尙ほ兩三回賣買者双方に交涉を試み或は存外容易に調停さるゝやも知る可らず、兎に角大連經濟界に於て斯く迄の大紛擾事件は其に未曾有といふべし

◉奉天の德富監督

德富京城日報監督は秘書山崎猛、王生兩記者の兩氏を隨へ二十五日夜奉天に來著せるが二十六日は任任既悉者の東道にて自動車に分乘、午前中北陵及び皇寺に參拜し宮殿、忠魂碑等を見物し一應旅館に歸り六時より在奉記者團を旅館に招待して晚餐を共にせり二十七日は午前中市中要所を視察し正午過ぎ赤塚總領事を訪ひ午後二時半より督軍公署に於て張督軍と會見の上二十八日午前一時三十分發急行にて哈爾賓に赴く筈（奉天）

＝仁川＝

▲幣原博士豫定變更 二十九日仁川視察の爲め來仁の筈なりし廣島高等師範學校長幣原博士は都合に依り豫定を變更し見合はせたり▲府尹出京 仁川府尹は事務打ち合せの爲め二十八日午前總督府に出頭同日歸仁せり▲岡本書記長出京 仁川商業會議所岡本書記長は豫算打ち合せに關し二十八日出京總督府へ出頭即日歸仁せり

＝鐵原＝

▲管理者 大脇宗四郎氏の後任として武安庭藏氏は十九日付を以て鐵原學校組合管理者に任命せられたり▲衞生組合 鐵原衞生組合の事業は道路面衞生施設に基き西邊面事務所に引繼ぐべく目下西谷組合長の手許に於て整理中なるが就中本年度の計畫事業は實際遂行の上一段の解決を付て引繼ぐ方針なりと▲普通學校新築 旣報の如く鐵原普通學校々舍新築は工費八千餘圓にて八月上旬起工し目下工事進捗中なり竣工期は十月下旬の見込なり▲合品評會 來る十月廿九日より向ふ四日間の豫定にて江原道北部五郡聯合農產物及び畜牛品評會を鐵原普通學校校舍附近に於て開催の計畫あり右に付鐵原在住官民は此程協贊會を組織し諸般の準備に着手したるが他の聯合郡たる伊川平康淮陽金化の各郡に於ても夫々準備中なりと而して此の好機會を利用し學藝展覽會を開催す豫定

人事消息

▲櫻井次郎氏（大邱覆審法院檢事長）二十八日夜入京不知火旅館へ投宿の筈
▲私立淑明女學校生徒八十三名 二十八日午前仁川へ
▲大內暢三氏（代議士）二十七日午後平壤へ
▲京城工業專門學校職員生徒一百三十六名 二十七日午後鎭南浦より歸校
▲齋藤音作氏（營林廠長）漫遊中の同氏は十九日歸任の筈
▲西村道彥氏（第一銀行京城支店長）二十八日夜來京
▲牧山耕藏氏（朝鮮公論社長）廿七日來京

彼れ此れ

○廣東、廣西軍は、續々湖南に入らんとす。段總理は南方に對し最後の讓步の通牒を發せりと。南來支那の事は、將に其の掛け引の頂上に達し、破綻は一髮の際に於て、形勢の急轉直下は常例なれば、其の妥協苟合の巧妙は、人の意表に出づ。此の騷亂が、陰然たる段兩氏の間に、關係を有する限り未だ以て、前途は逆睹し難き也。

○鶴澤博士、今村辯護士等が、最大急行列車を、停車せしめたる件は、我國鐵道、開闢以來の珍事なりとて、頗る問題となり居れり。其の根本的原因は、連絡船の延着にあるもの〻如し。我鐵道の如きも、連絡船客を有する以上、其の點には、常に大に意を用ゆるを要す。

○停車の責任が、何れに存するかは知らずと雖も。博士等の選ぶが、よしや頂上に達せしとは云へ、斷然之れを拒絕すべきは、職責に在る者の決心にあり。責任の爲に死敢て辭せざるが、男子の本分ならずや。威嚇に恐怖するもの、此の重職にある、危險なしとせず。重大なる責任を有する丈け、猶此の如きを、知らざるべからず。

女學校生徒の登山
(廿八日仁王山に登れる一隊)

來月から酒が騰る
一升につき十錢=酒造組合の云ひ分

京城酒商組合では十月一日から組合の決議で清酒大樽一樽につき三圓半樽一樽につき一圓五十錢、一升につき十錢の値上げする事になつた、曩きに酒造税賦課に伴ふ値上げがあり亦しても

▼今回の値上げ で上戸黨の恐慌察するに餘りありと言ひたいわけ『朝鮮に來ると酒が安くてねえ』無暗に飲で植民地氣分にメートルを揚げてゐた人たちにも遂に一大痛棒であらう、値上げについて酒商組合員の曰く『今度の値上げは内地に於ける値上げに應じたものだが此の原因は原料の暴騰、樽、藁、縄を始め運賃、配達賃その他諸經費の騰貴にあるので内地では

▼樽につき四圓 上げてゐるが京城では三圓にしてゐる、尤も例年今頃になると一圓乃至一圓五十錢の値上げは從來實行して來たのであるが今度一躍三圓に値上げしたのは畢竟如上の理由からである、それは夏の頃は一度煮沸せしめてから樽に詰めるので冷ねると二升程減る事になるが之れからは冷却したまゝ詰めるので

▼夏の内よりは 二升多く入るわけになり直ちに一圓以上の差が生じてくるのである、今度の値上げは需要者に對しては誠に氣の毒ではあるが已むを得ない次第である』

漢江橋開通式餘興
京城府民合同にて寄附す

來る十月七日擧行すべき朝鮮總督府第一期治道竣成式及び漢江橋開通式祝賀會に對し祝賀の意味に於て京城府、府民合同を以て餘興を寄附すべく目下協議中にして一兩日中決定すべきも大體に於て相撲、擊劍、手踊、屋臺並に水中煙火等を以つて景氣を添へる筈にして尙龍山各町の裝飾並に京城電氣會社にては花電車數臺を出すべく準備中なれば當日は隨分盛況ならん

七太郎は矢張死刑
―京城覆審法院に於ける―
白骨事件被告再審判決宣告

慶南釜山の白骨事件として評判せし長坂七太郎(三〇)に係る強盜殺人文書僞造行使詐欺死體遺棄事件は第一審釜山地方法院にて死刑第二審大邱覆審法院にて第一審を取消し死刑に處すとの判決を受け第三審高等法院に上告したる結果第二審を破棄し京城覆審法院に廻附されたる再審裁判は過般來續行中なりしが二十八日午前十一時塚原裁判長籍田切山兩判事陪席同書記係寺田檢事立會ひの下に左の如く判決ありたり

愛知縣西加茂郡石野村大字井金二百九十五番地在籍住所不定平民無職
長坂七太郎(五月七日生)(當三十年)

主文

第一審判決を取消す
被告七太郎を死刑に處す
押收物件中僞造森林賣買證一通、(證第十三號)金部及び土地賣買證書二通(證第十二號の一及び二)の各僞造部分は之れを沒收し其の他は各所有者に還付す、公訴に係る費用は全部被告の負擔とす、被告が坂本源吉の死體を遺棄したりとの點に關する公訴は之れを受理せず(犯罪事實の部分は省略す)

裁判長よりこの宣告を受くるや是迄强分樂觀しゐたる七太郎は驚きの餘り僅かに色青褪めて卒倒せんとしたるも看守に助けられて退廷したり當日は相變らず多數の傍聽者ありたり因みに七太郎は右の判決に直ちに服罪するや否やは疑問なるも或は再度上告するやも計られ難き模樣なり

獨探の兇手を遁れて
靜陽丸歐洲より歸る

桑港を去る二十日出發したる東洋汽船會社汽船靜陽丸(六千五百四十噸)は豫定より十日間遲れて入港せり延着の原因は八月二十三日智利にて船人足の同盟罷業ありしと又た獨探が同船の爆破を企てたるためなりと(大阪特電)

月の清涼里へ
漢江沿岸の夜色を眺めながら

□觀月會について奔走さるゝある同僚諸兄、私は二十七日の午後いつもより少し早目に編輯局を退出すると入浴夕食も匆々南大門驛へ驅つけました、月の漢江月明の清凉里を觀ようとするために

□六時に出る汽車が五分ばかり遲れて、漢江の人道鐵橋の辺いをして高い幻欄を右手に眺めながら西氷庫停車場についたのは六時十分頃でしたら、プラットフォームに出て見るとまだ望月には餘間のある十三日の夕月が漢江の隔てゝ聳ねたつ山の端に淡く引つて居りました

□乳色に銀色を混ぜたやうな月に、さざ波をたてながら緩やかに流れる水面に影を落して、囁くやうに搖れて居りました、美しい眺めです、若しも私が詩人であつたら、歌ごころがあつたら、美しい文字によつてこの場合の懐かしい情景の幾部分でもを形容する事ができるでせうと遺憾に思つたのです

□紛のやうなこの美景の中に浸つて、李王職雅樂隊の演奏を聽かうとする觀月會の人たちの心もちをさまぐ〳〵に想像して見ました、西氷庫驛を離れた汽車は一方に大分貫ばむだ稲田を望みながら、稲かな水面に様々な形ちを描きながら、走つてゆく月と共にひた走りに走りつゝある時、水道水源地の[illegible]流れて來る[illegible]趣を添へるのでありました

□清凉里驛を降りると觀月會場までは五丁近くもありませうが、月は夕闇のいよ〳〵濃くなるにつれて光を增して、澄み渡つた秋の空高く、銀色に冴えきつて居りました、會場に行く路の兩側には僅の黒い杜が默り込んでゐるのに反して道端の草叢や社の中には多くの蟲が鳴いてゐました

□その微妙な音色は澄める月に向ふ澄めと勸める自然の音樂とも思はれるのでした、私はその中をあちらこちらと逍遙しながら態々此處まで出掛けて來た事をつくゞく嘆ぜずには居られませんでした(△△△)

洪水罹災民三百萬人
天津は百年以來の大洪水

天津は百年以來の大洪水にて罹災民三百萬人に達せり日本兵營にも全部浸水せりとの報あるも被害程度未だ判明せず(大阪特電)

撰鑛所倉庫俄然倒壞す
內鮮人五名の死傷者を出す

二十七日午後三時頃梁津鈴木撰鑛所倉庫約百坪の建物俄然倒壞し內地人三名朝鮮人二名の負傷者を出だし內矢野常太郎(三九)は棟の爲め腹部を壓せられ收容後間もなく死亡し外四名は輕傷の爲め手當を加へ何づれも就業せり原因は家屋替換の爲め多數の瓦を屋上に堆積せるに因り損害は約一千五百圓に達したりと

萬引女
◇◇◇活動寫眞館の仲賣 市中の商店を荒す◇◇◇

愛知縣名古屋市中之町當時京城本町三丁目居住大野芳子(二一)は頗るのハイカラ美人にて以前忠北清州にて酌婦をなしたることあり最近京城にては活動寫眞館芝居場等にて仲賣りをなし居たるが同人は十三四歳の頃より手癖惡く既に一回竊盜罪にて取調べを受けしことありたりしも當時は年齡未滿にて處罰を免れたりしも昨年十二月中本町三丁目岩野呉服店にて顧客の風を裝ひ縮子の襟六掛(モス一掛(十三圓餘)を萬引して着用し尙本年五月中旭町一丁目雜貨商池田方にて縮緬の襟十掛(十五圓)を三月中には櫻井町一丁目某雜貨商にて婦人髮飾り用の鹿の子二十七掛(四圓五十錢)を萬引し自宅に隱匿しゐたること發覺して本町警察署に引致され取調べの上檢事局へ送らる

曖昧なる勸業債券月賦販賣所主任取調べらる
一無資本で幽靈債券を販賣す

近來京城にては何等資本もなく且つ何等資金もなき爲め勿論[illegible]債券月賦販賣所と金看板を掲げ一夜の[illegible]もなく其の形は多數の勸誘員を地方に派して債券[illegible]の月賦販賣をなし居るものあり[illegible]中には頗る曖昧なる方法に依るもののある由にて[illegible]債券を賣買したる者の中には

▲少からぬ損害 を蒙るもの[illegible]あり本町警察署にて同市内[illegible]勸業銀行債券月賦販賣所主任と稱する鹿兒島縣[illegible]を[illegible]取調中なるが[illegible]

▲立派なるもの を交付し[illegible]購買者をして安心せしめ置くも[illegible]

▲不正手段を弄する [illegible]

▲領收證を送附せよ と申[illegible]

▲購買者の損耗 となるもの多く既に某販賣所の如きは數千人に賣り込みて數百名の解約者あり爲め其の權利拋棄に依る販賣所の利得は夥しき額に達し居れりと云ふ[illegible]

全く手古摺り 一方販賣

所の者等は此の利得を以て遊興消費し居るもの多しと尙最近不職にて檢擧されたる山形縣生れの渡邊榮作(二)は前記市後崎に身元金三十圓を提供して同人の手先きとなりて上記の如き手段を以て一千百圓を詐取したる曲者なりと而して市後崎は大阪及び京城の銀行に二萬餘圓の債券を預けある旨吹聽しゐたりと

炭鑛坑夫廿一名溺死

福岡縣飯田松谷炭鑛内にて去る二十六日出水の爲め坑夫二十一名溺死したり(福岡電報)

一家鏖殺事件の公判

昨年中南龍岡郡書記一家を惨殺したる不逞鮮人張炳漢外四名に對する公判は二十八日平壤地方法院に於て開廷せられしも被告人に對して事實の審問なく閉廷せり第二回公判は十月五日開廷の筈(平壤特電)

灯とし頃

▲京城の紳士連が集めた商和會は秋の例會とあつて京元線に遠征を試み[illegible]意氣込んで二十六日は朝から盛な[illegible]▲しかも議政府の松茸狩と意[illegible]六門驛に御乘込み▲乘客は一團の連中[illegible]小遊覽同[illegible]▲[illegible]つてなかなかの景氣であつた▲然るに時計の針はズン〳〵廻つて行ても行ても仁川行きまで出て了つても許刻車は一向動かぬ▲その中一の敏腕家と稱せられたるが「やら〳〵のことに心づき一體[illegible]發するのか」と後は何時頃出發する著なのか一同に訊くと「へヘーエー、先日行きた[illegible]ら卅分ばかり前に出ました」の御答▲東道の役は俄かに御迷惑、それでは自動車をと飛んだが此の頃の陽氣にお生憎樣▲やう〳〵だく〳〵で一行を運むだは御愛嬌▲算盤とつてはさすがに一騎千の人達も時には生馬の眼を拔かれると見ゆる▲これは廿七日の夢のと長谷川町の露路では支那の花嫁がはづかし相なお輿入れ▲紅い布の綿帽子に面を蔽うた美人の花嫁があの小溝の上の板に運歩を運ぶと折から日鮮支の聯合軍側聞次馬は其光景に醉へるが如く一時にどつと喊聲をあげた▲する意を表した俄かにポカリと墜落したのでこんどは彌次馬連が悲鳴をあげた

商況

債券現物特電 (二十八日出來値)
東洋拓殖 七〇、〇〇 京城電氣 朝鮮銀行 一四五、〇〇 朝鮮瓦斯 南滿鐵道 [illegible]

東京公債直取引 (二十八日出來値)
五分利特別 九六、一〇 四分利公債 [illegible] 四分利 [illegible] 五分利 九六、一〇

深川正米特電 (二十八日現在値)
朝鮮米 一六二、六八 內地米 一六二、[illegible]

東京期米特電 (二十八日前場)
十一月限 二二、六四 [illegible] 二二、八五 [illegible] 二二、六四 [illegible] 二二、八五

大阪株式特電
種類	拂込	二十七日後場	前日比
若洲川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大日本紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
内國通運	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電 (二十七日前場)
十月限 [illegible] 十一月限 [illegible] 十二月限 [illegible] 一月限 [illegible] 二月限 [illegible] 三月限 [illegible]

大阪期米騰電 (二十八日前場)
當限 二二、〇〇 中限 二二、七九 先限 二二、八五 [illegible]

下關期米特電 (二十八日前場)
寄付 [illegible] 後場二十圓六十八錢 [illegible]

雜報

●綿糸布更に不勢 綿糸は米棉三十錢安 現物角七十六手二百四十圓 綿布は龍レー現物八圓二十五錢三銘先物八圓三十錢の入荒なり

●正米底强し 朝鮮の米作 意外の異作を生む [illegible]

●古新聞賣立つ 八十錢乃至一圓 [illegible] 引合値は八圓に掌る 次第に需用增加せむとす

京城正米
南大門の廻穀 [illegible]

●木炭は漸騰 內地移出行はる 平均六百俵內外を超ゆ [illegible]
市中小賣値 九十五錢乃至一圓に上る [illegible] 昨年の高値を拔く

●宗谷昆布入荷 十六日約七百個の入荷 [illegible] 十四圓內外

●清酒卸値上 大樽一丁に付十錢 小賣一升に付十錢の値上げ實行するに決 [illegible] 瓶詰 [illegible] 地酒卸 [illegible] 當地一圓乃至一圓五十錢 [illegible]

釜山穀物(廿七日) ▲正米(銀保合)依然として [illegible]

生魚市場 ▲釜山水產市場二十七日 入船數 [illegible]

仁川期米 二十八日前場(保合) [illegible]

サ仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

大阪天候 晴 大阪の八節二十一圓〇一錢と更に [illegible] 十一圓〇一錢 [illegible]

市場雜聞 ▲依然保合 [illegible]

全仲買店 仁川米豆取引所仲買人 主任 西川 [illegible]

第一回豫想の大數に敎派の氣を得た [illegible]

▲當限納會す 二十一圓七十一錢 [illegible] 一錢と謎の高値 [illegible] 二十一圓五十錢 二十錢と瓦落し 十五錢と無事納會

▲當限受渡高 [illegible]

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

▲僅々二千石未滿 [illegible]

▲豫想底乎否 第一回豫想一萬石空前の大賣六千百八十 [illegible]

▲當限落後如何 中限に多大の [illegible]

▲玉と捌し居 [illegible]

確實 迅速 [illegible]

十月限が當面の問題 [illegible]

仁川米豆取引所 廿八日の十一月限 [illegible]

●手に負へぬ曲者 大連から三年追拂はる [illegible]

近藤健二、同ますよ、大谷新兵、同とも、同まさ子、同ゆき子、安藤しま、山際さく、山口定吉、上村加三郎、秋元まつ、前田忠治、柳崎士百三、是岡川愈、田中秀一、新谷ふさ [illegible]

二十七日午後九時釜山入港さくら丸二等客 [illegible] 三等九十七名

文藝課題及び募集規程 [illegible] ▲同形の用紙に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事 ▲賜賞は一週間後 ▲種類の異る事に用紙を更ふる事 [illegible]

天氣 曇り時々晴れ (廿八日午後六時迄) [illegible]

◉醫業を廢して

兵器研究

岸博士の決心

數年前から專ら飛行機の研究に從事し私財を抛擲して邦家の爲めに盡瘁しつゝあつた岸醫學博士は愈々來月廿八日から

◆全々醫業を 廢し專心各種兵器の研究に從事する事となつた相であるが從來三四萬圓もあつた醫業收入を放棄して博士は斷然兵器研究に一身を委ねるのも國家百年の計を立つるために致し方が無いと云つてゐる聞く處に由れば博士の

◆兵器研究所 は東京南葛飾郡王子附近約八萬坪で已に土地の買收はおろか大部分は地均しも出來て居る從來重に飛行機許りであつたが此度からは製鐵製銅等も併せ研究する事に依つてゐる昔から多くの發明は英國や佛蘭西で大部遣つて居る其の應用は悉く

◆獨逸が實行 し發明者以上に成功を收めて居る日本が今恰度獨逸を眞似て居る形ではあるが少しも偉大な事業は出來ず徒らに材料の缺乏に困つてる、獨逸は世界を相手に戰つてる間に潜行巡洋艦を造つた、然るに今はラツセル氏も死ぬるし材料も缺乏して一寸困つてるだらう博士も

◆今一度洋行 する決心がある樣だが博士の意見に由ると米國や英國に行つても何の役にも立たず左りとて今獨逸に入る譯にも行かないからまあ時機の來るのを待つ外はない而かも印度あたりに產するボーキサイドもアルミニームも缺乏で兵器研究も六ケ敷いとの事である

◉西鮮の獵界

去る十五日から西鮮一帶は狩獵が許されて以來京義線の著名な獵場は京城、仁川、平壤、鎭南浦の狩獵者がドシ〳〵遠征し出した模樣であるが未だ平壤から出掛けた斯界の勇將連からは獲物のお土產話しも一向に耳に入らぬ西鮮方面の獵地にして未だ同好者に知られて居らない處もあると思ふので參考迄に京義線の獵場を擧げて見ると先づ黃海道では潘溪、汗浦、興水新幕其れから新幕から一寸隔つて居るが遂山郡の中心地獲物は主として雉鳥、獐、熊等でたまには虎も出るげな平安南道に入ると中和郡の祥原、平原郡の肅川、平南線の與池洞及び虎探洞等が主で一番多いのはやはり雉、鴨、雁、鴫、境である就中黃州洞、澳遊はシベに鴨が非常に多くをるとの噂、平北では定州の鴨、雉、白馬城址附近の雉、南市、良策附近の鴨、雁等であるが未だ少し早や氣味で十月に入らねば大したことも有るまいと思はれる平壤の猛者連を一寸聞いて見ると道廳の富永二部長、八木郵便局長、府廳の荒木財務、宮川の老人に富田晉次君、其他鐵道にも五六名はあるとのこと

◉兵器製造所 工事著手

朝鮮兵器製造所建設工事は東京砲兵工廠の請負となりたることは已に報導したるところなるが目下工廠より出張建築工事準備中なりし處過般敷地の爲め著手に二週間遲れ廿四日漸く決定を見たる由にて目下清水組は出張圖面を携帶して測量に從事し倘バラツク式倉庫及び建築作業場の二棟を建築材料を藏せたる馬車及び搬運の作業を繁しく因に建築敷地は一萬六千坪にして建物は廳舍及び倉庫工場を併せ二十數棟なり

◉仁川神社 始政記念祭

本年新たに定められたる始政記念祭典は十月一日鮮內各地の神宮に於て一般にこれを擧行せらるべく仁川神社にても同日午前十時より中式により始政七年記念祭を執行する由因に右祭祀は祭祀令に依る神社と鎭座地との特別なる由緒によりて鎭座神社として特に所定せられたる祭儀にして同社務所に於ては諸官廳、學校其他に向つて案內狀を發せりと當日は府尹以下各官吏及び學校職員生徒の參拜多數あるべし

◉平南の木炭

大正五年中本道內に於ける木炭の消費額は八十四萬一千五百貫此價格八萬九千八百十三圓にして生產額は六十八萬七千九百貫此價格六萬四千三百六十五圓なり而して主なる供給地は价川、成川、大同、江東、順川、黃海道殷栗郡及び瑞興郡にて仕向地は平壤、鎭南浦、龍岡、平原、兼二浦等なるが炭材の種類はクヌギ、ナラ、カシハ、アカマツ、ハンノキ等なり又本道に於ける製炭法は種々あるも大別すれば火消法及火取法の二種とす

◉製粉事業開始

平壤停車場附近に新築中なりし三巴製粉所建築工事は工程愈々進捗し本月末日迄には諸機械の据付けを終るべく十月一日より作業開始の豫定なるが同社は五萬圓の資本金にて既に四分の一拂込一萬二千五百圓は拂込を終了したる由にて一ケ年の製粉額は一萬石なりと而して製品は一二等の等級を附し賣出しをなすべし

◉人斬看守公判

檢事懲役十年を求刑す

元平壤監獄鎭南浦分監勤務看守宮本只吉に對する殺人事件の公判は二十六日午前九時より平壤地方法院第二號法廷に於て遠藤裁判長根本淺原兩陪席判事板野檢事金書記の係りにて開廷せられたり遠藤裁判長は被告只吉に對し形の如く原籍住所氏名年齡等を訊問したる後事實審問に入りたるが被告は只々知らぬ存ぜぬの一點張りにて犯罪事實を否認したり板野檢事は立ちて最も被告に同情せる論告をなし被告只吉を懲役十年に處せられたしと求刑したるに對し瀧本辯護士は酌量輕減あらん事を極力辯護したるに遠藤裁判長は九月二十九日判決を言渡すべき旨を宣し午前十一時閉廷せり

◉手數のかゝる 日本の食物

◆現在の生活を一日も早く改善せねばなりません手を付くべきものが餘り澤山あるので何から始めてよいか一寸困るのです衣服、飲食、住居に關する一切の事柄は我等日本人程複雜になつてゐるものはありますまい

◆家庭の組織も進步すればする程複雜になる許りで夫れが却て生活の上にどれ程經濟的に時間的に損になつてゐるか分らないのです先づ三度の御飯でも若しアレが西洋人のやうにパン屋から配達した物を直ぐ食べたら如何でせう米を磨ぐ手數や之を炊く手數が省けて人と時間とに於て日本全國に見積つたら一年十年百年と計算して見て非常なものと思ひます

◆勿論斯樣な事は現在の社會狀態で一朝一夕にして出來るものではありませんが毎日三度のものを一度にして三軒の分を一軒でしたら其勞力と時間と燃料とは何れ程經濟になるか直に分る筈です勿論三度のものを一度にするには相當の保溫法や其の設備を講ずる必要がありませう併し御飯を熱くしたり冷したりする位の事は今日の人の智ではそんなに六ケ敷い事でなからうと思ひます

◆此の點から見ると上中流の社會より殘飯なぞで生活してゐる內地の都會の下流階級などは或る意味では餘程經濟的な有效な生活をしてゐると云つてよい衞生上の危險はあるかも知れぬが彼等は配達された殘飯に豆屋又は漬物屋から一切の副食物を手輕に求めて其の日〳〵の暮しを簡便に立てゝゐるや否や家庭が七輪だ、うです現に內地の家庭が七輪だけで食事が調へられるやうになれば餘程便利だと思はれます現に若き志野の捕虜などは七百人の炊事一切を四人でしてゐるさうですが日本の兵營では夫れが如何しても九人かゝると云ふ事です（某教育家談）

港の砂

■日本一の大樹 鹿兒島縣蒲生村の大樟樹は地上五尺の所で幹の周りが七十三尺五寸地面で百廿五尺四寸あり、根元の切株には優に六十九枚敷かれる隱で其高さは十五間年齡は約八百年ださうな

■危ない工事 橫須賀市公郷町[illegible]は二十三日海岸の崖に爆藥を裝塡して石材工事中飛散した石片の爲め附近の石渡平四郎外三名の居宅の屋根を破壞した

■園に祟る [illegible]

■帆船の切腹 [illegible]

■娘の家出 [illegible]

■敵國の內地婦人 [illegible]

■名刑事辭職 [illegible]

■短氣娘の自殺 [illegible]

■水田全滅 [illegible]

◉平壤最近戶口

平壤警察署調查八月末現在內地人戶數は三千五十五戶人口男六千三十四人同女五千二百十一人計一萬一千二百四十五人朝鮮人戶數九千八百二十七戶男二萬二千五百二十六人同女四萬四千九百十二人外國人八百七十二戶人口男五百六人同女百七十八人計六百八十四人總計五萬六千八百四十一人なりと

◉大阪の赤痢

二十七日大阪にて本年始めての赤痢患者を出せり（大阪特電）

◉兼二浦水路調査

平壤府水路調查會會員は二十八日船にて大同江を下航し兼二浦視察同日歸壤すべしと

◉證書授與式

平安南道機業講習所に於ては二十六日午後二時より第六回修了證書授與式及第三回恩賜授產生修了證書授與式を擧行したるが式は第一部長代理富永二部長修了生三十名に對し訓示をなし工藤長官は告辭を朗讀し來賓田中高普校長の祝辭あり卒業生總代答辭を述べて閉式校庭にて一同記念の撮影をなし別席にて茶菓の供應ありたり因に當日來賓の重なる者は田中高普校長、高山農學校長、上野高女校長、大同郡守、新聞記者等なりき

◉小學校運動會日割

京城學校組合會の管理に屬する府內八小學校に於ける秋季運動會日割左の如く決定せり

▲西大門小學校九月二十九日午前九時より▲元町小學校十月一日午前九時より▲日出小學校同六日午前九時より▲東大門小學校同日午前十時より▲櫻井小學校十三日午前九時より▲南大門小學校十四日午前九時半より▲龍山小學校同日午前九時より▲鍾路小學校十六日午前九時より

◉代書人の橫領

仁川花町二丁目四十九番地仁川地方法院前に代書業を營み專ら登記事務の代書を爲しつゝありし福島益兆古は去る二十四日夜窃かに家族引纏め[illegible]

◉古新聞に翅が生えて飛ぶ

日本の古新聞紙がさかんに海外へ輸出されるのはこゝ數年來の新事象で近來ます〳〵盛んになり、殊に支那、朝鮮、滿洲あたりの

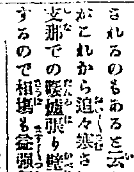
◆需要は素晴 らしいもので暖爐張り用から壁張りなどは勿論の事、野菜から、肉類なぞまで新聞紙に包まれる有樣で殊に未開地になるほど其の需要が多くなる最近に至つて露貨が暴落するまでは浦鹽邊へも盛に輸出されて居たの方へも大々的に輸出して居た

◆印度輸出が 止まつて了つた其の反動から印度內地では日本の古新聞紙が一貫目三圓から五圓といふ高値を現しソレでも喜んで居たが本年二月頃から一時ピッタリと止まつて要がやまない昨今は丸で貴重品扱いである坊ちやんふ狀況で古新聞ばかりは我らあつても品物が見らず現在日本で買集められる古新聞の八九分通りは海外へ輸出されて了うからそれがため買集め

◆相場の騰る は當然の話である、今年の春は最高一貫目五十四五錢とよびだしたのがこの夏になつて次第に下り賤となり昨今は三十五六錢から四十錢處で止つてゐる、買ひ集められた古新聞は一旦屑物消毒所の手を潜つて皺をのばし塵を拂はれ一貫目四十二三錢の相場で問屋の手にはいる、それから內地で捌けるのもあり輸出されるのもあると云ふ順序であるがこれから追々寒さに向ふと例の支那での暖爐張り壁張りが激增するので相場も益强氣に向つてゐる

◉交換手募集 京城郵便局にては今回新に交換手として若干名を採用すべく募集する事に決定せるが志願者は來る十月二十日迄に履歷書を添へ直接郵便局に出願すべく郵便局にては同月二十四日試驗の上採否を決定すべしと

台所 その日〳〵



▲オムレツ 燒いた肉、煮たものスープ等の殘りを利用して又之を新しく取り集めても結構であります其外に玉子、バター、鹽、胡椒が要ります、肉類は細かく刻みバターでさつと煎り鹽胡椒で味をつけ別に玉子（一人前一個位）を割り一個に對し牛乳一勺の割合と鹽と胡椒を少し加へて泡立てフライ鍋にバターを引き一人前分を流し入れ半ば固まりかけた頃先に煎つた肉を置いてものを包むやうにして折り返し皿に盛るのであります

再擧 迴遊 觀月會

◉號砲 晴天の時廿九日後四時南山上五發の號砲を打揚げ開會を報じ。雨天又は曇天號砲なき時は順延。

◉發車 觀月列車南大門發後六時四十分！乘遲なき樣願ふ。歸途電車劵は淸凉里距駅龍山、麻浦迄も通用

左甚五郎

第四十席

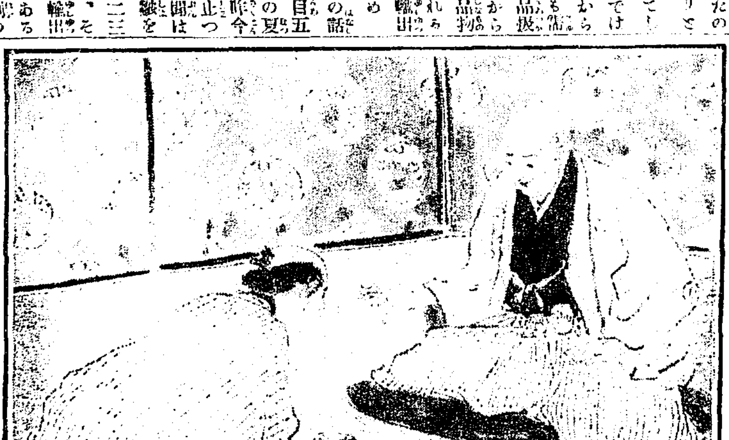
桃川如燕口演
浪上義三郎速記

器用は物の行き止り、不器用は名人の始めといふことを申しますが甚五郎の彫つたものは餘り奇麗なるものはございません、遠くから見れば兎も角も何だか皆な粗雜に彫りツぽなしで、仕上げをしないのではないかと思ふ樣な物ばかり、然し不思議な處に味合がある取付けを見て稱山遠江守感心をして、實に立派なものだ、恐入つたものと彦左衛門に申し開ける、甚だ敬老人も殊の外喜んで甚五郎を賞しました、倍東叡山寛永寺の鐘樓堂の龍が出來の趣を將軍家が聞召されて或る日上野の御靈廟へ御參詣の御歸途に鐘樓堂を御覽に相成つた、臺石の周圍をお廻りになりまして角々の龍を御覽なされたが西側の龍の處へお出になつて暫く下で御覽遊ばして居たが、此の龍の恐う腹を見せてある處は他に無い、皆樣も御存知の通り鳥渡溯などに行つて魚がかゝりました時に黑鯛でも網の中で暴れて破つて出やうといふ時の勢ひなぞといふものは皆鱗が起きて居る、それと同じ樣で龍の昇天する形といふものですから、鱗が起きて腹を見せて居る處は洵に美事、此の龍ばかりは取付けて頭と身體と相當してデコスケ龍が腹を鳥渡見せて宜い格好だ、他の龍は下で見た時には宜かつたが取付けて見ると頭が小さくつて馬鈴薯見たやうなもの

家光『彦左〳〵、此の龍は誰が彫つた』

彦『エー甚五郎にございます』

家光『ハ、ア左樣か、イヤ、彼は名人じや』と仰せられて其儘御歸城に相成りました、何うも他の龍を見て上樣が何とも仰せがないに西側の龍だけお尋ねになつて彼は名人じやとお褒めがあり、大層なものでございまする、然て見ると鐘樓堂の龍は甚五郎に一を占められてしまつたといふ樣な譯、不思議なことには此の龍が鐘樓堂の高欄を離れて目の下でございます不忍の池へ夜になると、水を呑みに下りるといふ、恐ろしい勢いのものでございます、池に下りて、頻りに水を浴びたり、呑んだりして狂つて居る、木で彫つたものが池の中へ水を呑に行くなどゝいふは奇中の奇と申さうか不思議といふも餘りあり、只今では不忍の池も小さくなつて居りますが、以前はあんなものではない大きな池でございました、其の廣々たる池の中で頻りに夜半に狂ひ廻つて居て池の端の鐵袋圓の娘が彼池へ飛込んで龍になつて池の主になつたといふことを噂いたしますが、其の異物の龍が水音を切つて、何だか夜になると恐しい騷がしい、何うしたんだと、異物の龍がソロ〳〵出懸けて來て見ると、木彫の龍が頻りに狎戲て居る、是を見て異物の龍がこいつは面白い、友達が出來て賑かだ、同じ樣にこれが池の中で廻つて居ります內に、廣い池でお互ひに出會して『龍』イヤおはようたといふが豈夫そんなこともありますまいが、是が評判になつて段々調べて見ますると、鐘樓堂の蓋石の處が每日々々雨降り揚句の樣に濡れて居りましたといふ、又西側の龍が濡れて居りましたから、搭は噂の通りに相違ないといふので、茲でお屆をいたして置いて以來水を呑みに行かん樣にと西側の龍だけは頭へ大きな鎹を打込んでしまつて動けん樣に取付けてしまつたといふ、御承知の通り西の龍だけは頭へ恐しい鎹が打込んでありまする、家光公御建立に相成つたる鐘樓堂の水呑の龍と稱へまするのは是でございます、搭甚五郎此度鐘樓堂のことに就て彦左衛門が屋敷へ呼びましてお賞めのお詞を頂き、公儀より御褒美を下され充分お手當の後御馳走になつて政右衛門の許へ歸りました。



暦 九月三十日 九星 舊八月十五日 乙亥 本命 四綠 [illegible]

募集規程 ▲用紙は端書又は原稿紙に認め[illegible]▲宛名は京城日報編輯局讀者係

豫報

演藝案內

京城壽町 電話五七八番 壽座 義士廼家男女合同一座 [illegible]

京城 有樂館 [illegible] ○コミカル、マジック [illegible]

黃金館 電話二三六六 [illegible]

浪花館 京城明治町 電話二六〇 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 大阪娘義太夫竹本榮昇一座 [illegible]

連鎖と喜劇

義士廼家男女合同一座（一行三十四名）

愈々今二十八日午後六時開演

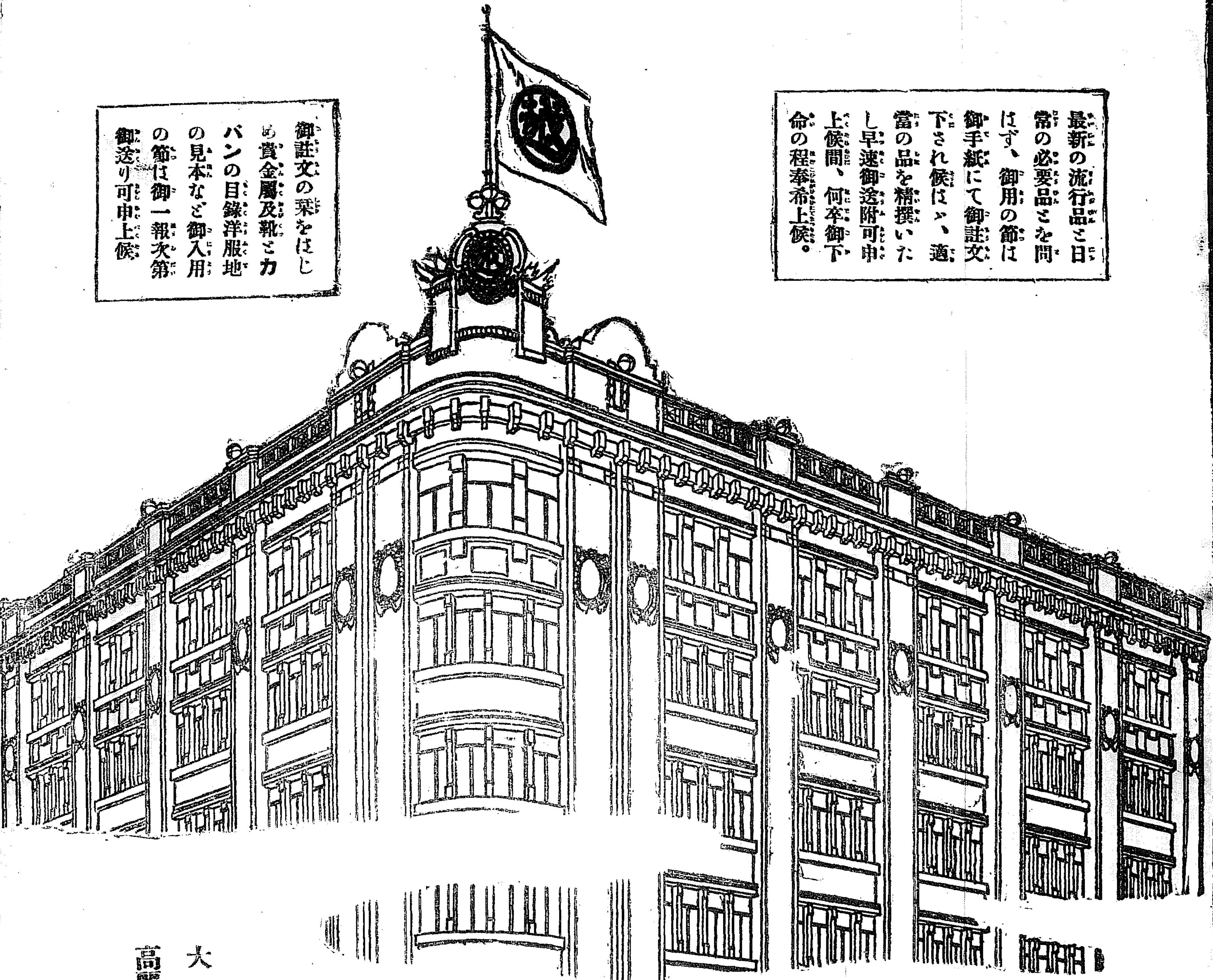
一 喜劇『初 產』 一場
二 喜劇『天下泰平』 二場
三 連鎖喜劇『秋の七草』 十八場
四 舊劇（近頃河原達引 お俊傳兵衛） 一場

一座は京城各所市內に於て破天荒の實演を撮映したるフイルムを舞臺實演と連鎖として御高覽に供し申候

△入場料 一等七十錢 △二等五十錢 △三等三十錢

二十七日京城日報廣告欄サツポロビール優待劵切拔持參の方は二十錢均一

京城 壽座



最新の流行品と日常の必要品とを問はず、御用の節は御手紙にて御註文下され候はゞ、適當の品を精撰いたし早速御送附可申上候間、何卒御下命の程奉希上候。

御註文の栞をはじめ貴金屬及靴とカバンの目錄洋服地の見本など御入用の節は御一報次第御送り可申上候

大阪の三越成る

日本商工業の中央都市たる大阪が、經濟的に異常なる膨脹と進歩とを示しつゝある今日、我三越大阪支店の新築落成を告げ、聊か此市の進運に隨伴するを得たるは、當店の深く光榮とする所なり。

新館の高さ百二十餘尺、地下室より屋頂階に及んで實に九階浪華の繁榮俯して之を悉すべく、近畿の山、紀淡の海、亦双眸の裡に在り。

店内の設備は努めて近世科學の精を蒐め其裝飾は普く東西藝術の粹を抜きたり。陳列場の擴大は貨物の充實を齎らすべく、營業科目の增設は利便の增進を期し得べし。當店の斯る發展は、一に是れ大方華客の賜にして、此新館は實に華客が愛顧の結晶のみ、當店の感激此機會に於て特に切實なるを覺ふ。

新館の扉は將に十月一日を以て滿天下に開かるべし、茲に恭しく落成を告ぐると共に、華客の恩眷既往に倍し、各位の來臨更に〳〵繁からん事を冀ふ。

新設部門

洋服部
食料品部
茶部
鰹節部

大阪
高麗橋

三越呉服店

京城日報

二十九日朝刊
（朝夕刊併せて八頁）

國力發展の要素（二）

文學博士 幣原坦氏講

第一は德義心の向上である。國民全體の道德的觀念が漸次向上しなければ國力の發展は期し難い。私は佛國人を惡ろく言ふ積りでは無いが、曾て自分が佛領安南に居つた際、個々の母國人たる佛國人の品行上の缺點が土著人の間に暴露さるゝや其れ迄崇敬されて居た母國人の信用が俄然失墜して了つた。之と反對の例として和蘭は本國人口の九倍餘もある植民地を領有するが植民地に於ける母國人の道德を維持せんが爲め種々に力を竭して居る一例を擧げると土著人の間に於て亂酔して居る母國人があるならば之を殺しても構はぬと云ふ程に母國人の威嚴を重んじて居る。併し此の點に就いては詳しく申述べたい事もあるけれども、時間を費すから簡單に致して置かうと思ふ。

第二は智力である。只今は佛國人の惡い方面を述べたが、佛國人は土著人の信用を失墜し乍ら何故に今日迄其の勢力を維持し、其の境界は益々擴がり、西隣サイアムの境界の如きは段々狹められて居るかを怪むであらうが、其所には確かに理由が有る。其れは道德的方面に於ては西洋人は決して東洋人に優るもので無いと云ふ自覺を安南人が得たと同時に、智識の間に於ては迚も母國人に打勝つ事が出來ないと自覺したのである。自分等の毀し得ざりし岩角も、母國人は一日にして毀はす。自分は陋屋に住居するが、彼等は雲衝く許りの大廈高樓に住居する。或は今迄は如何にしても治癒せぬ疾病も病院に入れて之を療治して了ふ。流石に智識ある國民には敵はぬと驚いて居るのである。是れ即ち佛國が其の植民地に於て一方に於ては土著人より嫌惡されるに拘らず尚其の勢力を維持する所以であらうと思ふ。私は母國人は智識の點に於ても土著人を指導する丈の餘裕がなければならぬと考る。

第三は體力である。元氣溢るゝ許りであるのは、體の力を說明するものであつて、若し體力を失へば統轄力が薄弱になる。文明國人は[illegible]に慣れて居るから氣候惡しき土地や激烈なる天然に對しては抵抗力を失ひ萬々意氣消耗するの意氣の消耗は即ち勢力の衰退を意味する。旺盛なる體力を有つて居る國は、困難あるも之に辟易する事なく、勇往邁進する事が出來るが一朝旺盛なる體力を失へば即ち沮喪、精力を失ふに至るのである。

第四は財力である。土著人が到底爲し得ずと思惟する事柄を、母國人が其の豐富なる財力の善用に依つて爲し遂げたならば、土著人は非常に驚くと同時に、畏敬の念は一層高まり來る事は申す迄も無い。財は之を善用しなければ成らぬ。吾々日本人は從來澤山金錢を所持せざりし事が、或は却て仕合せであつたかも知れない。之を使用する方法を知らざれば、腐敗墮落の外はない。其の使用方法、攻究して工夫して始めて財力の價値が生じて來る。斯かる事は今迄に取立て申述べる程のものでは無いが要するに國民の道德と智力と、體力と而して財力との四者が調和統一されて初めて國家の發展を見るに至る次第である。個人に就て言へば人格の何たるかと云ふものがあるが、國家にしても一種有機的組織を有つて居る以上は其所に人格がある可きである。而して國家的人格の向上は前述ぶる四者の調和統一にあることを忘れては成らぬ。母國に國家的人格を充分に具備せる國民の勢力は非常に強く、其の國家は益々隆盛に赴くに反し、國家的人格を具有せぬ國民は滅亡の外は無い。

ここで前四者に就て、現在吾が日本內地に於ては今後如何なる傾向を表はさんとしつゝあるか。而して吾々は如何なる考を抱き居るかを御參考に爰に吐露して置きたい。

大森林縱斷（七）

成北 鏡城 山崎眞雄

△明川邑

に着いたのは午後一時半であつた本郡は元吉州郡の一部にあつた邑の住人李施愛なる者衛にもない反逆を企て一寸一觸に敗んだが忽ち敗れて捕へられた然し此は[illegible]な昧事では將來又何んな奴が出るかも知れる帝やら[illegible]して了つた

△鞍に克く似た

[illegible]となつたのであると鏡山の後の山を白鹿山と云ふので[illegible]見ゆる樣にならば[illegible]めたのを見て御座で白鹿山は[illegible]低くもならぬか鏡山が低くなれば白鹿山は見ゆるに相違ないから近々の內大字薬が出來ると[illegible]に遊びないと[illegible]んで居る御甘度い事である

△明川郡廳

に金部守を訪ふた本邑城は正德年間始めて築造したもので周圍三千三百尺高さ十二尺今は隨分廢頽して居る[illegible]は雨が少ないので旱害[illegible]農民は全く弱くなつて居る[illegible]であつた[illegible]

せんもの『う』へ。今更[illegible]まないのつて、奥樣をり除り合つてそんな義理堅い事を言つたつ更ら過ぎると云ふものだ。今になつて、はいゝ、もう貴女の罪は消えませんぞ、其樣な事を言はないで是非一つ私の言ふ通りにやつて御覽なさい、其方が結句爲めだと云ふものです』いくら賴太郎の愛に溺れてゐても、夫人は流石そう迄夫を馬鹿にするに忍びなかつた。何處までも强情に藏部が勸を斥けたので藏部はとう／＼腹を立てた。然し思返して其日は歸つた。翌日になると復訪ねて來て『奥樣どうしても賴太郎はお手許に引取つて戴かないと困りますよ、なあに金使ひがどうの此うのと其樣な些細な事とは違ふのです。彼奴

▼火星 [illegible]
▼金星 [illegible]
▼木星 [illegible]
▼土星 [illegible]

（小倉理學士）

◇大連所見 鶴田樂村

△明源驛

に至いて明川と稱する[illegible]

[illegible]となつた郡廳、警察署、郵便局、金融組合、普通學校、小學校、面事務所等がある內地人の商店兼業の雜貨商が一軒と公醫さんが一人[illegible]

△相應の取引

がある[illegible]

誰（79）

布施生譯

『そりや左樣でしやう、其內治るには治りましやうが、さうもあれでは私が心配でな。私の監督が不行屆だからだと思はれるのが辛いのです。どうです奥樣、一つ貴女のお手許に引取つて見ては』『悪[illegible]でも無い、其ならば[illegible]ですが[illegible]奥樣、一つ[illegible]

[illegible]め時々狂人氣を出しやがつて、[illegible]をするかと外國へ飛出したお道樂。事によると過日お聞になつた通り突然志願兵になつて遠い他國へ往つてしまはないとも限りません。で。夫人は之には困つた。大切な息子にそんな事をして置つては遣瀨がない。夫人は堪らなくなつて『では何うか致しまして[illegible]手許に引取りましやう。しかし一寸其方法に困りますね』『なあに譯はありません、私が親戚の者をお賴みした事にして[illegible]それでは[illegible]除り[illegible]いけませんかな』

定價 本紙 一部金二錢五厘 △一ヶ月金五十五錢 △郵税一ヶ月金拾五錢 △一ヶ年前金[illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川[illegible]三之助
發行所 京城太平通二丁目 株式會社 京城日報社
電話[illegible] 振替貯金口座京城三〇三番

七日間米 ……
△保合小堅し
[illegible]
△當限受渡高
[illegible]二千七百五十石
受渡値段十九圓三十錢
△立會時間改正
[illegible]十月二日新[illegible]
△豫想發表未だし
[illegible]

平均値
一節 二節 三節 四節
[illegible]

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
★ 京城本町壹丁目
株式會社 百三十銀行 京城支店
電話 一八五 二九四番 振替貯金京城三三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

ワンゲル鞄

品質體裁共に優美堅牢且つ廉價にして實用的比類なき優秀品なるを以て往々好評を博しつゝあり

京城明治町二丁目 電話一八三三番
古賀喜鞄製造所

朝鮮諸官廳受驗叢書 全部完成
京城[illegible]
△受驗提要 全一冊
△必公文解釋 全一冊
△朝鮮六法要論 全一冊
△朝鮮行政法規大意 全一冊
△朝鮮會話譯文速成 全一冊
△作文軌範 全一冊
△法律問答 全一冊
△法律講義 全一冊（特價七十五錢）
[illegible]
發賣所 京城日報社代理部

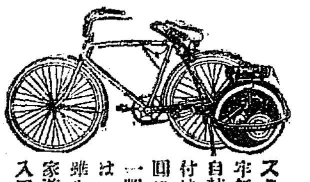
ペン字上手になる
窪田北濱先生新著
商用英字練習帖
ペン習字帖 增補改版
ペン手紙と葉書の書方
ペン商業書式習字帖
ペン數字練習帖
發兌 大阪屋號

最新刊
[illegible]
藤栗毛輪講 定價九十五錢
[illegible]
無代進呈 新刊圖書分類目錄
大阪屋號書店

商業登記公告
[illegible]
京城地方法院 開城支廳

商業登記公告
[illegible]
京城地方法院

物價暴騰の昨今 頻らく價格と實質とを御比較遊されよ
保温 耐久 木綿足袋の三倍以上
各地販賣店にて御求め御愛用を乞ふ
特約御希望の方は御申越次第「特約案內」進呈可申上候
強くて温かい日本一の オニタビ
寺田源平商店



スミスモーターサイクル機械堅牢無比にして破損の憂無く普通自轉車に僅かに五分間にして取付ける事を得價格金壹百九拾五圓にしてガソリン及オイル共に一哩僅に一錢にて使用出來馬力は一馬力半にて如何なる急坂も上ることを得旅行家及愛輪家遊獵家に最も適す。カタロク御入用の御方は御一報次第送呈す
第二回新荷著
スミスモーターサイクル
タイプライター 販賣修繕
朝鮮特約代理店
ツヅキ自轉車商會
京城南大門通り三丁目
電話二三一〇番
電略（ツ）又は（ツツキ）

人力車タイヤ
丸タイヤ
ホーネン 空氣入
タイガク 空氣入
アラインス代理店
自轉車
京城黃金町水標橋角
イバラギ商店
電話二九二七番

卸商
タイヤ類
自轉車附屬品
ハンバー自轉車輸入元
京城永樂町二丁目
神戶 橋本商會京城出張所
電話一五七九番

□戰時船舶管理勅令

戰時船舶管理令は二十八日御裁可あり左の勅令下りたり（東京特電）

朕戰局ノ倍々擴大スルニ伴ヒテ外ハ協同戰爭ノ便宜ヲ進メ内ハ産業運輸ノ調節ヲ圖ル爲船政ヲ統整スルノ極メテ緊急ナルヲ認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ戰時船舶管理令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正六年九月二十八日 各大臣副署

◎獨墺人内亂煽動 警戒

北京政府にては上海に於ける獨墺人の内亂煽動運動旺んなるを以て歩兵三十八旅團長をして兵を要所に出ださしめ獨墺人の交通を遮斷したり（北京特電）

◎陸榮廷唐督軍提携

陸榮廷氏は二十四日衡州に於ける戰鬪を機とし唐繼堯氏に對し協力して四川、湖南を平定し共に武昌に進擊せん事を慫慂せるが唐督軍は之に同意を表せしも唯四川省に劉存厚氏の存する限り到底武昌進擊の計畫遂行不可能なるを以て先づ劉氏と妥協を試み然る後之に應ずべしと答へたり（廣東特電）

◎戰時船舶管理令 發布 十月一日より施行

豫て樞密院を通過せし戰時船舶管理令は別電の如く二十八日御裁可あり同日左の如く發布せられたり（東京特電）

第一條 日本船舶は遞信大臣の許可ありたる場合を除くの外日本船舶を所有し得ざる者に譲渡し貸渡し又は擔保に供し又は引渡すことを得ず、製造中の船舶に就きても亦同じ

第二條 遞信大臣の許可ありたる場合を除くの外日本船舶を所有し得ざる者の註文に依り船舶を製造する事を得ず

第三條 日本船舶は政府の命令又は遞信大臣の許可ありたる場合を除くの外、外國諸港間の交通にのみ從事する事を得ず

第四條 遞信大臣は日本船舶に對し外國の一港より外國の他の港に至る旅客又は貨物の運送を禁止し又は制限する事を得

第五條 遞信大臣は日本船舶に對し航路を指定して航海を命じ又は特定の旅客若くは貨物の運送を命ずる事を得

第六條 遞信大臣は日本船舶に對し運送賃を制限する事を得

第七條 遞信大臣は相當の保證金額を定め日本船舶、造船所又は造船に要する材料器具機械の收容又は使用する事を得、製造中の船舶に就きても亦同じ

前項の場合に於て遞信大臣は船舶又は造船所と共に其船員又は從業者を（四字電文不明）せしむる事を得、遠洋航路補助法第一條第三項及び第四項の規定は第一項の保證金額に對し不服あるものに就き之を準用す

第八條 遞信大臣は遠洋航路補助法に依る補助航海に使用する船舶の資格に就き別段の規定を設くる事を得

第九條 遞信大臣は日本船舶に對し船員の保護又は船舶の設備に關して必要と認むる事項を命ずる事を得

第十條 第一條乃至第三條の規定に違犯したる者及び第五條の規定に依る命令に違犯したる者又は第七條の規定に依る收容、使用を拒みたる者は二年以下の懲役に處す

第十一條 第四條の規定に依る禁止若くは制限に違犯したる者又は第九條の規定に依る命令に違犯したる者は一年以下の懲役又は五千圓以下の罰金に處す

第十二條 第六條の規定に依る制限を超て運送賃を收領したる者は三箇月以下の懲役又は三千圓以下の罰金に處す

前項の場合に於て運送賃の制限を超過したる部分は之を沒收す若し其の全部又は一部を沒收する事能はざる時は其價格を追徵す

第十三條 本令に依る遞信大臣の職務は朝鮮、臺灣、關東州に在りては朝鮮總督、臺灣總督、關東都督何れも遞信大臣の監督を受けて之を行ふ

（附則）本令は大正六年十月一日より之を施行す、本令施行の際現に日本船舶を所有し得ざる者に貸渡し若くは擔保に供する日本船舶又は外國諸港間の航行にのみ從事する日本船舶に就いては本令施行後遲滯なく遞信大臣の許可を申請すべし日本船舶を所有し得ざる者に擔保を供する製造中の船舶又は其の註文に依り製造する船舶に就きても亦同じ

本令は（六字電文不明）調印の日より一年を經過したる時は其效力を失ふ

◎教育調査會 顔合

寺内首相は二十八日正午教育調査會副總裁江木千之氏以下各委員幹事一同を官邸に招き同會議の初顔合せをなしたるが首相の訓示挨拶に次で江木副總裁の答辭あり午餐を共にして散會せり（東京特電）

◎藤田組鑛業 創立

藤田組鑛業資本三千萬圓にて二十[illegible]

◎參議院 召集如何

[illegible]臨時參議院を召集せんか[illegible]の命令を發表する豫定なりし[illegible]同を不利に妥協せんとするにあり同氏よりの電報あり大總統直に召集上甚だ不利益なるより當分其の[illegible]し倫黨成せず其意志のある所は時に依り陸氏必ずしも反對せざるべく威を激發する虞れあり時局の收拾も傳へられ結局該問題は如何に成り行くべきや局外者の推擧を許さゞるものあり（北京）

[illegible]代理に書面を發したるが宛名の[illegible]上野與吉氏の入札は實上高五十萬[illegible]松師は遲化せしを以て未だに開封[illegible]に達し近來稀れに見るの盛況を呈したり（大阪特電）

◎不屆者は一年 京畿道江華郡吉祥面吉稷里柳斗烈（二九）は八月二十[illegible]こと發覺して檢擧され京城地方法院にて懲役一年に處分となれり

◎總督平壤通過

[illegible]を視察したる長谷川總督一行は二十八日午後三時平壤通過京城に向へり（平壤特電）

◎鮮内外國爲替

昨年中に於ける拂渡額

大正五年中の朝鮮に於ける外國郵便爲替の拂渡高は左表の如くにして時局に因る業務停止又は交換杜絶の爲め獨墺太利洪葛利白耳義[illegible]に小さきは以て朝鮮と外國間との經濟關係の甚だ密接ならざるを知るに足るべし尚ほ米國本土及び布哇の拂渡高多額に上り居れるは朝鮮より兩地に出稼げる者多くその送金被仕向けのためならんと

◎京畿稻作豫想

昨年より一割三厘減少

京畿道に於ける九月二十六日現在稻作第二回豫想は水稻四十七萬一千四百二十三石にして前年實收高に比し一割三厘強の減收なり又陸稻豫想高は一萬六千三百二十五石にして前年の實收高に比すれば六分強の增收を示せり而して水陸稻共に本年は挿秧期旱魃の爲め適期を逸したるも其後の天候順調にして生育亦良好となり前記の數字を示すに至れりと

◎郵便貯金獎勵訓示

持地遞信局長官は二十七日全道の郵便局長及び郵便所長に對し郵便貯金獎勵に關し左の訓示を發するところありたり

[illegible]

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○古人は『不風流處是風流』と云へり。此れは幾樣にも、解釋は出來く可し。吾人は寧ろ不風流中に、風流を見出さんことを欲するのみ。

○そは何よりも先づ、吾自ら風流心を養ふにあり。風流心とは、鹿爪らしく說明する迄もなし、唯だ美的感受性の發作のみ。一たび此心發作せば、人は自然に鄙俗、殺風景の桎梏より、超越し來るを得可し。特に女性に於て、此嗜みは大切也。

○美的感受性の發作は、其人の天性によるも、亦た幼少よりの教養、習慣によるもの最も多し。若し其の父母、長者にして、聊かたりとも其の方面に誘はば、其の子女は何時となく、之に感化せらる可し。

○或は摘草、或は海水浴、或は栗拾、或は茸狩、一年何の季節にか、其の子女の風流心を、發ふの便宜なからん哉。是れ皆な一種風雅的實物教育の資を[illegible]す可きのみ。

○若し仔細に觀來れば、日本の都會の中心にさへも、風流は見出さるゝ也。廣重の江戶百景を見よ。如何に當時の江戶、及び其の周圍が美化されたる乎。廣重は徒らに胸中の丘壑を、吐き出したるにあらず、彼の美的眼光は、此の平凡なる、時としては俗惡なる中より、其の美所を看取して、之を畫き出したるのみ。

□大阪より

背陵生

○十七萬五千圓で設計された市電從業員優遇の一として、問題になつてゐた市電長家は市會に於て愈々可決された。天神橋筋六丁目から北へ長柄街道に沿ふて、三千坪の一廓、階下四疊半二疊の三間に電燈二個を點じて家賃三圓、階上四疊半二間電燈一個附二圓五十錢、階下は重に老人子供等のある多人數家族を收容し階上は夫婦者を入れる方針であると云ふ。二階住居の女共長屋の夜などは蓋し活動寫眞ものであらうか、何にしても早く優遇の法を完成させて電車の危險を間接に防ぎたいのである。

○社會の罪惡を營利の具に供する現代最も恐るべき惡風潮である。京阪へ渡つて來た活動連鎖の『千葉心中』など甚しきもの一である。警察がやかましいのを利用して『チバシンジー』と妙な標題を揭げ、千葉新次は鎔中の副主人公鎔子事件とは全く没交涉など、開場前に辯士をして、さも〳〵鎔子事件だと云はねばかりに斷りの口上を云はせる。敵本主義も斯う云ふ風に巧みに實行されては警察も施す術があるまい。

○それは未だ營利を目的の興業師のする事だから恕すべき點もあるが、大塚博士とか遠藤博士とか小山内薰とか云ふ人々が階番制度主張の運動に、こんな醜へ顏を出してゐるのが不思議に思はれてならぬ。

◎道路局部改修

京城府にては豫て市内局部道路の改修を必要と認め居る箇所約三十餘あり一例を舉ぐれば蓬尾旅館前より日出小學校に至る道路の如きは之を府線路に改修する必要あるものにして府當局は經費の都合上之が實行を見合せ居りし次第なるが仄聞する所に由れば今回之が經費として土木費中に約二萬圓を追加計上すべく目下之が起案中也と

◎電信料處理通牒

二十七日遞信局は全道各郵便局長に對し電信料金後納處理規程中改正に關し從來電報料金後納保證金納付に限られたるを有價證券を以て代納し得る事となりたるに依り證券の受入其他處理上行違なきを期し其價格は額面其他の有價證券は時價の八割を以て計算すべき旨の通牒を發せり

◎古海總長招宴

古海警務總長は二十八日午後六時三十分京城記者團の重なる者を花月に招待し清宴を張りたり

◎全鮮記者懇親會

先年共進會開會の際朝鮮新聞協會なるものを組織し全道新聞通信雜誌各社の代表者京城に會合したる事あるも爾來數年を經過し懇談の機會なきを遺憾とせしが今回京仁新聞通信社長の發起にて來る十月十三（土曜日）十四（日曜日）の兩日十三道の新聞通信雜誌各社の代表者再び京城に集り秋期懇親會を催し總督に敬意を表することに決定せり

◎工專內地修學旅行

京城工業專門學校職員生徒百餘名は來る十月二日南大門出發內地見學旅行の途に就き同月二十二日歸校の筈なり

□木浦より

一社友

▼問題の朝鮮紡織工場は屆出の都合上假りに鎭梁津に設置する事と相成り候由、旣報有之候處當地方にて取沙汰せらるゝ處に依れば時勢に鑑みて眞に已むを得ざるの結果なるが如くに御座候。

▼即ち、歐亂勃發以來、諸物價悉く昂騰し殊に機械類に於て甚しく紡績機の如き一錘十七八圓のもの、現在にては四十七八圓を要する有樣にして到底新企業著手の時機にあらず、と云ふが其の根本となりたるものらしく

▼創立委員の間にも種々の議論ありたる模樣なるも、前に一切の準備悉く進捗したる今日、其の遲延を許さゞるより、試驗的に極めて小規模の工場を設置し好く時勢の變遷を待ち、四圍の狀況當に復したる後、既定の規模に依り工場を設置すべしと云ふに一致を見、玆に假工場地を鎭梁津と決したるもの、由に候。

▼鎭梁津は淡水に於て十分なると電力の供給容易なるより企業上の資金も鮮少にして事足る便利あるもの、由に候。

◎農事獎勵總會

京畿道農事獎勵會總會は二十九日午後一時より京畿道廳內宣化堂に於て開會々長宋秉畯子其他會員たる地主約六十餘名出席の筈にして松永長官臨席參與官入澤第一部長其他臨席し大正五年度事業收支決算報告、大正六年度事業豫算並に役員改選等を行ふべしと

◎人事消息

▲セーア少佐（佛國北京公使館附武官） 二十八日夜退京

▲三浦周行氏（文學博士） 同上釜山へ

▲中山勝之助氏（大邱覆審法院長） 二十八日夜入京巴城館へ

▲松寺竹雄氏（平壤覆審法院檢事長） 同上入京朝鮮ホテルへ

▲杉村逸郎氏（大邱地方法院檢事正） 同上

▲河野通久郎氏（[illegible]合名會社輸出部員） 同上

▲今西致二氏（日本興業銀行） 同上天長樓へ

■百聞百種■

日本で初めて華族なるものが設けられたのは明治二年であつたと思はる▲其際には總數四百十九人であつたが大正五年末の調査に由ると九百三十五人になつて居る▲鳥渡五百十四人の增加で平均一年に十人以上の新華族が出來て居る譯だ▲其明治二年に眞先に授爵されたのは昔の殿上人百三十七人と諸侯二百八十二人の所謂公卿大名華族ばかりだつた▲其後國家に勳功あつて授爵せられた者があつたり▲反對に除族せられた者もあるが其幾變遷を重ねた▲明治二年六月以降大正五年末迄に新しく授爵せられたもの百二十九人である▲反對に除族せられたものは公卿華族三人▲大名華族に三人新華族に九人で都合十五人ある▲其れに過般授爵せられた故奧田及び松岡の兩氏を加へると現在が九百三十五人となる▲姓名は申上げ兼ねるが華族の中には[illegible]に迄零落して居る人もある▲之れを各爵別にすると公爵十七人侯爵三十八人伯爵百人子爵三百八十八人男爵三百九十八人となる▲華族の多いのは日本の一種の特色でもあらう

◎浦鹽勞兵大會

浦鹽に於ける勞兵會は二十七日勞兵大會を開き重要問題に就き決議する處ありたり（浦鹽電報）

◎露紙幣發行權擴張

露國にては國立銀行の紙幣發行權を二十億留に擴張せるが是れによりて無準備發行制限額は百四十五億留となり開戰後著々擴張し來れる發行額は百四十二億留となれり尚大藏省にては國庫券を發行して紙幣に代用せしめ以て紙幣發行の增加を防止する計畫を樹てたり（露都電報）

◎滿鐵要部異動

滿鐵庶務課長の後任は心得として山田潤二氏又調査課長川村鉚次郎氏の後任は同次席島村孝三郎氏夫々任命せられたり其他には餘り異動なかるべしと（大連特電）

◎久保理事著坳

今回滿鐵理事に昇進したる庶務課長久保要藏氏は京城管理局詰を命ぜられ十月初旬家族を携へ京城に赴く筈なり（大連特電）

◎德富監督動靜

德富本社監督一行は二十八日長春著多數官民の出迎を受け直に哈爾濱に向ひたるが十月三日夜再び長春に引返へすべし（長春特電）

來ル十月廿一日本府及各道（京畿道ヲ除ク）ニ於テ見習試驗ヲ施行ス志願者ハ九月二十二日朝鮮總督府官報廣告見習採用試驗志願者心得ヲ參看シ十月十日迄ニ試驗ヲ受ケムトスル官廳ニ出願スヘシ

大正六年九月二十六日

朝鮮總督府見習試驗委員長 法學博士 秋山雅之介

◎朝鮮名物◎ 金剛山 京城本町 龜屋 電話二十七番 四七五番

京日案内

番外 ▲申込後中止の節は料金返戾せず ▲六行以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信附にあらざれば答へず ▲御照會の節は必ず數字の番號を御記入の事

普通

●裁縫女弟子入用 希望者は左記へ至急來談あれ 壽町十七番地 高野屋事 大橋 628

●店員入用 保證人を要す希望者本人來談あれ 電話二〇八六番 京城本町一 大阪屋號書店 624

●門生入用 十四歲以上十八歲迄但小學校卒業程度以上のもの希望者本人來談 京城三阪通 興亞館 627

●うちみ ほねつき 明治町フランス教會前 荒川仁壽堂 電話二五九五番 625

●店員入用 十八歲以下市內に證人を要す（電話一五六二番） 京城本町三丁目 近藤金物店 632

●店員一名 果實販賣に經驗あり市內に確實の保證人ある人來談あれ 旭町一丁目 川西商店

●見習看護婦至急入用 希望者本人來談 龍山元町一 電話二〇四番 幾野醫院 467

●女中入用 三十歲前後の者給料相當支給希望者來談 南大門通一丁目 三國商會 635

●雜種用二連銃讓り渡し 價二十一圓 早勝（姓名在社） 639

●產婆及看護婦免許有醫院へ被雇度し（姓名在社） 640

●嬰兒預けたし 生後六ヶ月男子 乳の有方へ希望者來談又御報を願ふ 南山町一丁目八 石川乖助方 628

●看護婦見習至急入用 姓名在社 314

●貸地 萬五千坪 地味頗良桑又果樹有望此際安價 京城鍾路 小林 電六三六 615

店員入用 十五六歲各二名 確實なる保證人を要す自筆履歷書持參本人來談 仁川新町 坂田支店 629

改印 今般都合上從前の實印を廢し新製改印仕候間此段廣告候也 大正六年九月二十六日 京畿道高陽郡崇仁面新設里二十六番地 森のぶ

京城春川間自動車 乘合 貸切 片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通 京春自動車商會 電話二一三八番 松田壽男 734

鑛物定量分析 明治町二丁目（電話二七七一） 本町二丁目江戶川横入 田部分析所 562

銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目 電話二〇九二番 增戶銃砲店 616

勸業債券買入 但し東京と同一値段にて申受候 京城大平通二丁目 電二八三二 勸業貯蓄會社支部 636

◎平壤名産＝平壤栗著荷 内外 果實 青物 海産 雜穀 委託問屋 平壤新倉里 吳德泳商店

お月見に

月樣はいよ〳〵明かに 御心神はますます爽やかです 香晶を御携帶遊ばせ
定價 三個入 金四十五錢 一個入 金十五錢 各地小間物化粧品店 藥店雜貨店にあり

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七九番

赤玉ポートワイン

美味 滋養 純生粹 葡萄酒
「赤玉ポートワイン」は健胃、補血、興奮、强壯の効顯著なる葡萄酒なる事は既に七大醫學博士の賞讚と證明せらるゝ所にして今や各大醫の藥局に於て滋養劑として賞用されつゝあり、其味美味なるに依り婦人小兒の口にも適する美味滋養の葡萄酒なり
七大博士の實驗證明を有す

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通） 酒井婦人病院 院長 酒井一郎 入院隨意 電話一八〇八番 二六〇〇番

月の陣肥にたる馬を並べけり

旅順の大谷光瑞師
◇女氣無の寂しい男世帶◇
◇大亞細亞主義の大精神◇

西本願寺の前法主大谷光瑞師は目下旅順の別邸に悠々自適して居られる、先般京城から面謁の爲めに赴いた松原總長の談に曰く『御法主は九月十一日の午後大連に上陸されました、こんど二年ぶりにお眼にかゝつて見ますると御元氣に

✕一向變りも　ありませぬが大分頭が白くなつたやうに見受けられました それに聊か憂の種くなられた氣味もありますがこれは南洋に居ると自然斯うなると話られました、これまでスンダ海峽の白雨、セレベス島の風、豪快な法主のおからだもやゝおやつれになつたやうに見受けました旅順の別邸は新市街北手の吾妻町、西港

✕帆影繪の如　く見ゆる老虎尾半島にかけてジャンクのあたりに在ります、お邸の裡は留守居中の橘瑞超師を始め今春京城の西本願寺から參りました山本義之などの門弟が五人居りましたが而も女氣なしの男世帶で食事は一切支那人のコックと支那人のボーイとが世話して居ります、簡易な素朴な生活で部屋々々の飾りなども寧ろ物寂しい位ゐに思はれます法主は去んぬる大正三年の秋

✕京城に立寄　られ爾來滿洲から南支那、南洋、印度と巡遊せられて昨年の暮れは上海まで歸られました、それで旅順へも道回で二年ぶり、來る十一月下旬にはまた〳〵南洋に向はれると承はりました、法主は今南洋のセレベス島に農園を有つてゐられます『自分も二年間働らいたお蔭で今では[illegible]頻りに喰べるやうになつた』と[illegible]戯言ばなしもなさいました、[illegible]

✕日常背廣服　一着を無造作に引つかけてゐられる生活にも、燃ゆるが如き『大亞細亞主義』の精神が溢れて居ります、別邸の來客はあらゆる方面の人達で時々蒙古王などもお見えになります、刑目には旅順の有志者に招かれ觀月の詩會が催ほされると聞きましたが、また滿鐵の青年會から頼まれて大乘佛教の講演もなさると伺ひました、今春京城から法主の許に參りました

✕山本留學生　も目下旅順で教へを受けて居ります、法主は此の上とも有爲の青年を集めたいと云うてゐられます、それには二三男の繫累のない青年で且つ意志が堅固で健康でその上風采の堂々たる者といふ條件があります、そして門下の人達も學問により總て人物によつて階級を設け[illegible]てあります、山本生は幸ひ二級の四人組の一人で大に將來を嘱目されて居ります……』

◉總督府　雇員以下增給

近來の物價騰貴は一定の給料に生活する者の、可成りに苦痛を感じ居る處にして從つて各官廳及び各會社銀行等に於ても其々職員の增俸を斷行しつゝあるは既報の如くなるが總督府に於ても愈來十月より給料四十五圓以下の雇員に對し一率に金二圓宛の增給を斷行し兩山に傭人（給仕小使を含む）にも

◉張繼氏神戸發

[illegible]張繼氏二十八日神戸發上海に向へり（大阪特電）

[illegible]たる李開侁氏は最近陸氏との協議[illegible]ると共に非常國會の解散手續困難[illegible]結果を中央に電告したるが夫によ[illegible]なりと云ふにあるもの、如し政府[illegible]れば陸氏は臨時參議院の召集に[illegible]南省一部の獨立するあり若し[illegible]強ひて該臨時參議院召集の命令[illegible]に於ては益々南方派の反[illegible]發表するに至るべし[illegible]武力解決を決心せる政府は此際陸[illegible]氏の賛否如何に拘はらず斷然該召集の命令を發表するに至るべしと[illegible]

●光瑞師の書面　今に未開封

大谷光瑞師は本年五月一日發[illegible]

●大阪山下氏　入札五十萬圓

[illegible]二十七日夜大阪に於て開かれたる

●住友銀行員

住友銀行員外國係吉川淺雄(三)は有望の青年なるが二十八日朝刀にて自殺を遂げたり原因不明なり（大阪特電）

[illegible]室に侵入[illegible]たも恰かも殊鍋の如き挙にて殊鍋に化けて遂に尹氏を弄びたる

●大阪の　大旋風　人家を捲上ぐ被害夥し

二十七日午後四時頃大阪東部中本町附近に大旋風起り人家數軒を捲き上げ高さ六十尺の湯屋の煙突を吹き飛ばしたるが人畜の被害夥し（大阪特電）

●金剛山官有林　盜伐事件公判

成興法院に於ける三井物産會社員の金剛山官有林盜伐事件公判は二十八日辯論終結し川島檢事は被告村田、佐伯、金藤三名を懲役一年に、山脇、川上、森山三名を同六ヶ月、中田、和田を同六ヶ月、遠藤、金、の四名を同四ヶ月、渡邊、藤井、[illegible]三名を同三箇月の求刑をなし午後は[illegible]辯護士の辯論あり[illegible]

●天津大洪水と　日本租界被害

天津大洪水の爲め日本租界は浸水し我が居留民は伊太利租界に引移り避難者は全部公會堂の二階に收容して救助せり支那街各國租界内の秩序は完全に維持されつゝあり（天津電報）

◉鰻上りに　紙が騰る　内地新聞値上

大正[illegible]知らずに暴騰なして上げた諸物價は調節令の發布を見て物に依つては下向きになつたものも無いではないが殊に最も珍妙な現象を呈して來たのは新聞紙である元來紙類は前數年來内地の製紙[illegible]

▲需要の增加　はそれ以上著しく增加せるに拘らず[illegible]となつて居るので物價調節令の効能も一向になく依然として騰げる一方、現在新聞社で使用して居る新聞紙の原紙ザラ紙の如き一連二圓五十錢位に過ぎなかつたのはつい二三年前の事夫れが四圓となり五圓となり今では一連に付き六圓より八圓と云ふ驚くべき大暴騰をなし今回又もや二割値上げをする筈の處政府の調査で内地丈けは二割上げを實行する事となつたので内地でも容易には手に入らず新聞社の方では

▲用紙を手に　入るゝに容易ならぬ苦心を要する事となり其他に鐵や鉛其他の材料も殆ど倍以上に騰貴し新聞社は紙價其他の材料騰貴と職工の[illegible]の間に挾み込まれ實際苦しい立場に立たねばならぬ事となつたので各方面でも新聞紙値上げの話が起り關東、關西の各新聞は既に二割乃至二割五分上げを實行し東京の各新聞も

▲又もや十月　から値上げ[illegible]既に三錢、八百新聞に五錢、神戸の各新聞は十錢の値上げをする事になつた、のみならず九州地方の各新聞も十月一日から五錢以上十錢以上の値上げをする事になつたが殊がつてこの他内地の各地方新聞も大部分値上げをするに至つたのは蓋し事情已むを得ないのによるのだらうと思はれる

◉市場荒し

全南光州生れ金致三(三十二)忠南大興郡近東面生れ申正文(三十二)は外一名の三名共謀し本年一月以降に慶北開寧市場、金泉市場、忠北永同市場、忠南太田市場外數箇所の市場を徘徊し人の出盛りを好機として腰巾着を切り取りて掏摸取りたること前後數十回に達し被害金額も夥しきものなりしが遂に檢擧され公州地方法院大田支廳にて正文は懲役四年[illegible]一年の判決を受けしも不服として京城覆審法院に控訴せり

□石川遺族の感謝

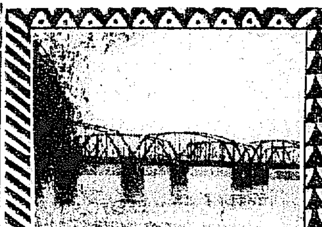
憐れな一家の主人公太平通りの石川彌三郎は既報の如く二十二日終に死亡したるが本紙讀者を始め各方面よりの同情金は合計金百餘圓に上り滯りなく葬儀を濟ますを得たりと遺族は是れから先何うするか前途不明なれど郷里に歸るも頼るべき者なければ多分京城に踏み止まるべく妻女は新らしき位牌の前にて涙を流しつゝ『皆樣の御恩は死んでも忘れません何うぞ御社から宜しく……』と衷心より感謝の意を表し居たり

◉傳染病

京義鐵道速川郵便局長[illegible]氏(?)は九月十五日發病入京受診の結果廿七日腸窒扶斯と[illegible]

京城西四軒町百四十一番地[illegible]男(一二)は廿七日猩紅熱と診斷通學中なる京城中學校は消毒せり

◉送別琵琶大會　五徳琵琶會[illegible]原旭居史は近く[illegible]京に移す[illegible]



(漢江の上の月)　(清涼里の月の夜)

◆開催　晴天の時午後四時南山上五發の號砲を打揚ぐ

◆順延　雨天又は曇天號砲なき時は順延と御承知願ふ

再擧　廻遊觀月會

◆汽車　觀月列車南大門發後六時四十分！乘遲なき樣

◆電車　後十時卅分解散電車券は清涼里から龍山麻浦迄

◆五發の煙火を合圖に　∴南大門へ

本社主催廻遊觀月會擧行の當日が來た

廻遊觀月會は仲秋月最も明るき今二十九日を以て清涼里附近鐵路の懸々たる所に於て行はれます、晴天にして愈々盛大に行はれます

◆觀月會擧行の際　は午後四時より三分每に漢陽公園の絕頂に於いて五發の煙火を打ちげて開會の合圖としますから廻遊特別臨時列車南大門驛發車の午後六時四十分までに南大門驛に參集して戴きたい、若し會員多數にして同列車に收容出來ぬ場合には更に七時を以て第二回の列車を特發する事になつて居りますから

◆本日中に續々と　申込み下さい、廻遊列車の徐かに轆り行く漢江沿岸、殊に西氷庫附近の月景色は實に絕景と申しても過言ではありませぬ、西氷庫では停車中李王職音樂隊の演奏があります、會場たる清涼里に於て郊外活動寫眞を始め其他種々の餘興のあることは既報の如くですが妓生四十餘名が

◆月見の裝ひ輕く　會に假設の大舞臺に於いて演舞する樣は何んとも言はれぬ美しさでせう、此の外サツポロビヤホールを始め各種の賣店などがあり、歸途の電車は會員券所持の方は何處まで行かれても無料です、年に一度の此の良夜に行はるゝ此の月見の宴には是非奮つて御參會あらん事を希望いたします

げいのう

■壽座　[illegible]一派[illegible]二十八日より[illegible]

■大正館　二十八日より[illegible]全部新寫眞と差替へ[illegible]

■黄金館　二十八日より[illegible]四卷△第五レツドサークル四卷[illegible]

■有樂館　二十七日より全部新寫眞と差替[illegible]

うわさのうわさ

▲過日『噂の噂』子が成賓堂文庫の『論語鈔』が本社の代理部に僅かばかり殘つて居ると書いた▲すると其朝、未明に古城梅溪氏と高等法院の某氏、遞信局の某氏などが分取功名の先きがけをやつて終つた▲其後から盛んに申込んで來る向きがある▲之れは京城に於ける高峯なる讀書家、古文書愛藏家の多い事を證明するもので一面に又莫大の費を投じて『論語鈔』の如き比類少き古書を刊行した苦勞甲斐があると云ふべきである▲猶『論語鈔』と並んで珍重せられた古文書で『日本書記』の新らしい本では『白隱禪師遺墨集』『政治家としての杜公』『朝鮮書畫家列傳』『杜甫と彌爾敦』等は昨今頻に本社の代理部で注文を受けて居る▲殊に『白隱禪師遺墨集』には和尚會下の双璧と稱せられて居る豪石の深翁、微細の東嶺兩巨匠の遺墨をも併せて見る事が能きる▲白隱和尚は臨濟宗の傑僧にして鵠林派の開祖たるのみならず最も偉大なる日本人の一人なる事は人のよく知る處である集を繙くと和尚の面目躍如として生動して居る▲丹鶴叢書の『日本書記』は六百年前の古書を寫眞石版に附したもので藏して家寶と成すに足る▲蘇峰先生の『政治家としての杜公』は明治大帝時代に於ける偉大なる此の政治家の經綸と國運の進展の基調を窺ひ得べし▲吉田英三郎氏の『朝鮮書畫家列傳』は朝鮮の古書畫研究者の缺ぐべからざる珍書である▲『杜甫と彌爾敦』は蘇峰先生の最も力を注ぎたる大著で先生はこれが爲に年を寄らしたといつて居る程詳しい事は本紙の千山萬岳樓主人の批評をよむと分る▲更に此のウツボ屋は古朝鮮の通貨たる唐宋の古錢を集め實物三十個と六十個とを著け一々和英文の解説を付けたる『朝鮮古錢』を發行したが發賣部數は素より多くはない▲以上は何れも本社の代理部が二三部又は五六部宛持つて居る故眞に古書珍書の愛藏家に頒ちたいと云て居る

強胃消化錠マーゲン懸賞當選

懸賞問題正解

●過般發表せるマーゲン懸賞問題に對し九月十八日朝日每日兩新聞社員立會の下に嚴正なる抽籤を擧行致候處左之通り當選相成候條直ちに賞品を發送仕候。【今回は文會者の御都合に依り四五日發表の遲延したる事を謝仕候】

(1)八木田醫學博士　島田藥學博士　(2)本マーゲンは他の胃病藥と異り其(1)効は著しく胃を強くし消化を佳くし胃弱を快治する(3)新式錠劑なり。新聞名。

壹等　脇卷銀側時計　臺灣嘉義街蔬菜組合　庄田[illegible]　大阪市東區[illegible]　[illegible]

貳等　ペン付萬年筆　東京市日本橋通[illegible]　[illegible]

參等　新柄浴衣地　[illegible]

四等　消化強胃マーゲン　[illegible]

▼右當選者百名に付き賞品は追つて全部發送。但し賞品の略名す。[illegible]

マーゲン廣告部

九月二十八日より　黄金館の　素敵滅法　我慢太郎　大阪每日新聞活動寫眞通信班撮影　殺人狂　入江三郎　木村江葉考案　滑稽大魔術　コミカル、マジック

製造販賣　水車唐箕　萬石篳筒　京城本町一丁目　電話一三三六番　土井商店

平壤　おまちかねの　栗　新栗　初荷は廿日より出初めます　每年の御得意樣に御知らせ申ます　京城南大門前　電話七五九番　池田商會　振替二四七番

捕鳥用　カスミ網　小鳥用絹糸製天地幅六尺一棚一面十五間○五錢五十四間拾五錢七間　其外網類各種附屬品一切　營業　通參拾錢送料拾錢　捕獲法明細書　東京市下谷區北稻荷町　小木曾商店　振替東京二九六六番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから……値段がお安いです　京城本町二丁目角　電話一〇二番　古城賛化堂

カーバイド　並に各種ランプ及附屬品　京城南米倉町十七番地　鮮滿總代理店　田中カーバイド　山陽商會　電話一一九二　振替京城三貳一壹番

銚子港　田中玄蕃釀造　ヒゲタ醬油　代理店　櫻正宗　發賣元　京城明治町一丁目　山邑京城支店　電話八四九番

內科（消化器病・呼吸器病）　小兒科　外科（內臟外科）　婦人科（喇叭管疾患）　皮膚科　花柳病科（根治療法六〇六號注射）　肛門病　入院隨意　院長　醫學士　齋　勇　副院長　醫師　竹葉善松　其他各專門醫　京城本町五丁目（稻荷座前）　大和病院　（電話二〇一二）

大日本優等清酒　品質純良　衛生無害　白鶴　釀造元　攝津灘御影町　嘉納合名會社　發賣元　京城本町二丁目廿番地　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候　京城　朝鮮銀行　電話（三一三・二一〇六・二二六一）

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傳家甸、龍井村　出張所　右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

眼科專門　京城若草町（總督府通り若草町新道路中程）　電一五五六　金井眼科醫院　新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

櫻御殿

第廿九回 大阪霞の家主人

先陣爭ひ(五)

岐阜の城は僅な一夜の戰鬪で陥落する、正則は大手から、輝政は搦手から、互に手柄を爭つて火の出るような軍をした、大手の險には七曲百曲などの要害があり、そこを決死の城兵が守護したので正則は一寸手痛い働きをしたが、搦手は長良川に臨んで、屏風を突立てたような險崖であるから、容易に敵兵の押寄せる虞はあるまいと油斷して、僅の小人數に柵を守らせたに過ぎなかつた、これ怨しながら織田家滅亡の時運が來たのであらう、輝政の手に屬いて居た堀尾茂助忠氏は、曾て岐阜の城に仕官したことがあるので、總ての要害をよく心得て居る、福島勢が大手でせり合つて居る間に、搦手から攻め落せといふので、案内者となつて、長良堤の險を攀ぢた、そして直ちに秀信の本丸に薄つて、焰硝廩に火を放つた

これが岐阜城の致命傷となつた 本丸已に敵の手へ渡つたと聞いては、いかな猛將も要害を支へる力が盡きて、それ〳〵に引き退く、内軍の大兵は潮の如く押し寄せたが、第一に旗を本丸の門内に樹てたは輝政で、それに續いたは淺野幸長であつた、けれど双方に激烈な先陣爭ひがあつた後であるから、井伊直政から家康へ報らせた勝軍の注進には『福島池田の兩大將、前後から同じ時に押し寄て、同じ時に門内へ到着せられた』と書いて置いた、德川方の諸大將が、正則の機嫌を取外すまいとして、萬事に心を用たのはこれでも分る

あはれ、信長の嫡孫岐阜中納言秀信も、さん〴〵の敗軍で今は三十餘人となつた

『今は早や此までぢや、潔く自殺をする』と云つて刀の柄に手を掛けたるを木造左衞門が押し止めて『敵とは云へど、總見院殿(信長)の事)に御恩を受けた大將も澤山居ります、決して惡くは致しますまい、兎も角も命を全うなされませ』と意見して、僅に殘つた用丸の塀から一臺の駕を出した 駕を出すのは降參の相圖である 今の軍に白旗を揚げるのと同じである

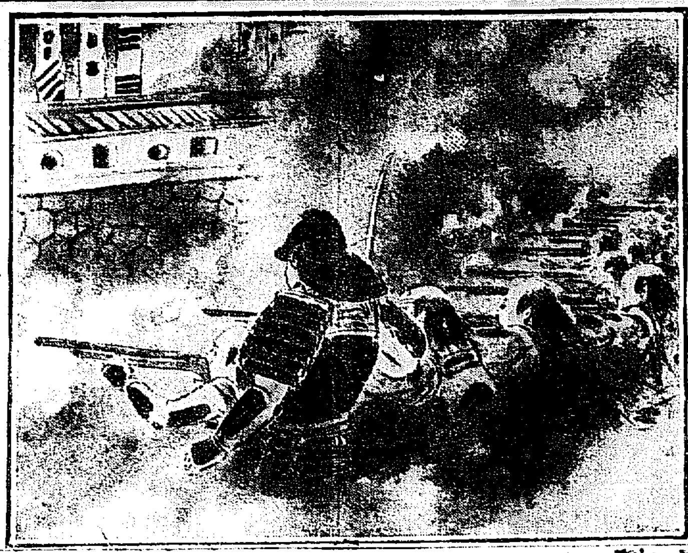
『岐阜黃門樣降參ぢや、戰爭を止め〳〵』と正則は呼んだ

『それは爲るまい、坂道八に加擔をした大將は坂道八ぢや、只一揉みに揉み潰して、後日災の根を絶つが好いでござらぬか』と何がな家康に媚びを見せて、一萬石の加增にも有り付かうとする者は云つた

正則は頭を振つて

『織田右府公の御嫡孫ぢや、今は仇敵でも我等には大恩を受けて居る、此期に臨つて舊恩を忘れるは道であるまい、右府公に濟まぬ、一國に義理を重んずるのでござる、岐阜黃門樣をお助け申して、之れが江戸内府公(家康の事)の思召しに協はずば、福島正則此度の戰功に換へてお詫び申す、早々迎ひの者をさし上げい』と云つた

正則は潛い誼を思ふことが深かつた、輝政と幸長とはこれに同じて秀信を守り出る、即ち正則の計ひで、この日すぐ髮をおろし、尾張の知多郡から高野山へ上つた、岐阜の城は信長が齋藤龍興を攻め討つて、初めて天下統一の軍勢をあげた處である、その由緒の深い城が嫡孫の代になつて滅びたのはまことに不思議な因縁であつた



銃修繕 玉井銃砲工場 龍山元町二丁目 電話五三八番

牛乳 衞生的新鮮 病院御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

京日報俳壇

金剛山吟行(中) あきら

飛鳳瀑
瀑吹きちぎり嵐木々に降る

九龍淵
瀧音の力山にくい入る
瀧しぶき陽の岩まばゆ

八潭
淵を見上げ瀧を落ちたる
人許さぬ幽谿の夏淨し
蹄音幽かなり夏雲の飛ぶ
(鬼の窟釜は處若鈴氏命名の新瀑にて)
奥は深し一汗拭かん蟬時雨

寒霞渓
岩の松さかしまに涼し吹く
吟行の笛捨てゝ蟬暑し

萬物相
大岩柱の苔黒う延びぬ
奇岩壘々夏山寒し

新萬物相
岩山岩の白照る秋晴れ

玉簾水
泉樹ぶわが掌の大きなよ

千佛洞
鑛山裂り茂り戰ぐ

(細洞より雨に遇ひて)
夏野ひたせく雨雲あるもし
夕煙り這ふ雨の盆商し

末輝里
合宿の雨にさびしき虫鳴り

末輝里館
草鞋下ろす山霧の晴れ

長安寺
蟬の大樹並み寺明る

鳴淵潭
潭の口碑錆岩の鶴鵠

□活巴會(第六回小會九月十九日老人亭支部に於て)

○茄子
前住の人殘しけり茄子畑
漬な萎く日燒げや茄子の花
暫らくは朝たのもしき茄子の畑
野道から傘借りに來る茄子畑
茄子畑や籠下ぐ僧に街灯る
茄子もぐる指のまゝなる迷蛋かな
すでの庭茄子に雨傘さしかけぬ
喜雨いたり目立つ茄子を分ちけり
移植後の雨殘酒夜や茄子の太りかな
茄子も茄子で遅れ「畑早りに欲しい雨
茄子倒れ伏す雨晴れの滴
茄子ちぎる手に蒼蛙のあわて飛ぶ
俄捨ては日高客み漬茄子の花
貰返し漬越に初茄子の五ツ六ツ
移民先の耕地に茄子な試作せり
初學ひして見の茄子を數へし
社宅住みて手作の茄子を貸ぜり

同 同 同 桂 同 同 同 同 牛 同 狐 蘭 同 蘭 同 同 吉 同 同 同 友 (茄子の句作者名)

花 殿村谷 谷 觀 峯

新刊紹介

▲演說會話自修自在(福岡縣一二〇)は一般の需用に應ずる演說と會話の實例に必要なる材料を網羅したり博多...

▲東洋文藝(十月號) 五十錢東京芝南佐久間町一の一東洋藝藝社

▲史談文藝(十月號) 歷史談を通俗的に面白く記述したる雜誌にて內容は吉田東伍博士、須藤南翠、長谷川時雨、島田篤氏等の名流の外知名文士の寄稿多く、正史あり野史あり逸史情史あり叉は稗史、代史、民族史、人物史、市井史等趣味豐富にして和歌俳句其他文藝物も材料補て頗る也十五錢東京深川一つ木史談文藝社

▲文藝俱樂部(二〇ノ一〇) 十錢東京牛込區矢來町中の丸博文館

▲滿蒙研究彙報(二〇) 一箇月三十錢旅順乃木町滿蒙研究會

▲筆之友(二〇八) 二十錢東京神田猿樂町二の六

▲特許(一の一) 十二錢東京芝櫻川町七特許社

▲小學生(七の一〇) 新館立志館十三錢東京溜谷東エビス文教社

▲薄記世界(一九の八) 三十錢東京神田美土代町二の一大原簿記學校

▲電氣新聞(三〇) 五錢東京麴町有樂町一の一電氣世界社

▲近頃水道の攻撃も薄らいだようだねに總て人と云ふ者は自己の利害關係に就ては、痛切に感じて大きな聲を出すもので近頃は東大門の學校についてだ〳〵しい議論をしているが種々の下らない議論をする奴にはだ一たい此の樣な議論す自己に不便だとか小供が可愛そうだとか手近な事より他に目がつかない気がつかない少し氣を大きくな處に目を着けたらどうだ學校なんかもつと遠いところに持つて行つてもよい雨が降つたり風に恐れて學校に行けない弱い小供元氣ない小供を持た親は恥づべきだ大きな聲を仰でや新聞の上で不平を云ふとは(國士)▲東大門小學校の學困に就て二十日朝刊讀者の頭分に論の蔽せられたるあり余輩同方には何等の縁故關係なきものなれども子を持つ親の深く同情に堪へ鳴する處あるものなり教育獎勵の當路爲政者は必ずや之れに傾聽して公園社宅よりも急に施設する處ある可きを信ず教育衞生のことは樂的設備よりも更に急なるに注意せられんことを望む尚ほ個人の利益の爲めに多數の不快又は迷惑とするものを除去するに充分の勇氣ありや否を考慮せられんことを望む(通名生)▲明治町の空家に家賃二十圓に敷金五十圓を出してあるあんな家に二十圓出した上五十圓の敷金する人はマーあるまいチト先を見ても好かり相だ(注意生)

安州炭 西崎商會 京城南小門町 電話七二七番

無病長壽を希ふ人ありや 然して津村兄弟商會の 人蔘エキスを 知らざる人あらん人蔘エキスに 親しまるゝ方は一生健全也 京城本町一丁目(電話一四八〇) 津村兄弟商會

軍隊毛布 二度と見られぬ破格の毛布 本社が總督府御用達として軍隊防寒用毛布の注文遲延の爲め當季節に間に合はずべき冬迄の倉敷と金利を要する爲め壹千組限り決算の都合上茶及鼠毛布二枚續一組の原價の直段を二圓五十五錢で御注文に應ずれば此際至急ハガキにて申込まれ受付順に引換郵便で發送す各々なれば五組以下は品代着拂 東京神田振替東京三四六番 東京織物仲繼店

□□□□し誰でも直ぐに□□□□ 大金持 となれる、此頃の樣に物價の高い時節地方一村一名限りの本社特約して商品が原價で仕入れられ忽ち小資本で出來る大商人の秘訣封入營業案内表へ及送料一部二錢 東京神田區西小川町 日本橋際本通商聯絡會

外務員募集 一、公債債券月賦販賣業 一、斯業に經驗を有する者 ○希望者は自筆履歷書相添へ至急申込あれ 東京市日本橋區南茅場町十五番地 日本勸業 合資會社

電話浪花長三壹三九番 振替東京二二七六八九 明治三十七年創立 社長子爵河田作 業務監督松村寬平 法律顧問 (日本勸業)

ルーデサック 一個八十錢 三個二圓 十個 ... 淋病梅毒專門藥 淋病梅毒自宅療法 京城永樂町二丁目 東京ドラッグ商會 本店 支部

まちや 明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通 明治町 南質店 全女家貸

百圓 りん病 ばい毒 進呈 特三二回 藥淋病、梅毒二國藥 帝國醫科大學病院 淋病藥主藥は治淋劑とし梅毒藥主藥は驅梅内服藥とし醫藥學上最有効と確定 普に於て營業認可せる高貴藥あることを保證する事を發見せる時は證言に違ふ事を保證す若し前述の分析料として 百圓 進呈 ▽あらゆる治療を講ずるも効なき患者先に角一度來談あれ にせ物あり 大阪有田 製を賣取あれ 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會滿鮮本部 (振替京城四六七番)(電話三五六番) 釜山大廳町二丁目 大阪ドラッグ商會 詳細木小十二頁本紙御覧 他の藥店ニ販賣を不許 京城 南大門外停車場通 大阪 ドラッグ商會 大阪三休橋 ドラッグ商會 他ノ商店ニテ販賣ヲ許サズ

東京帝國農科大學三宅博士發見

蛋白 澱粉 脂肪 消化劑

プロテアーゼ

是迄の消化劑は多く澱粉質にのみ有効にして蛋白質に對しては未だ理想的のものなかりしが今回帝國大學の三宅博士が蛋白質に對し最も強度の消化力を有するプロテアーゼを發見せり

本品は一種のエンチームにして蛋白質の消化力現代に於て第一位なるが上に澱粉質に對しても其消化力諸種のヂアスタゼに優り尚脂肪分解作用をも兼有す、斯く蛋白、澱粉、脂肪の三種に對し完全なる消化力を具備する大發明は實に本品を以て第一となす

前記の事實は内務省東京衞生試驗所の報告に見るも明なり

胃腸障害の皆に常にヂアスターゼ其他の消化劑を服用せられつゝある人は速に本劑を試み其偉効を知れ

粉末と錠劑の二種あり

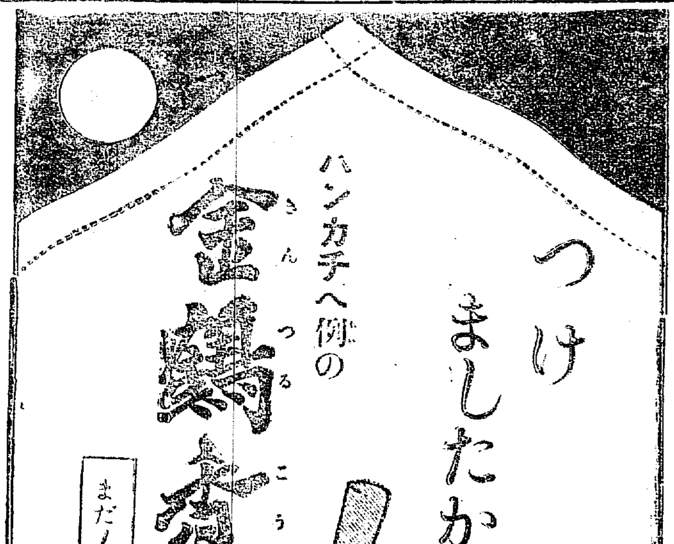
定	價
粉末 一〇五瓦 二五瓦	一圓四十錢 六十五錢
錠劑 百錠 卅錠	三十九 十錢

東京京橋南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋 一七八五番 振替東京 二〇五二三番

△各地藥店及特約店にあり



チツ(はす寸燐) ハネシカ 羽鹿燐寸 京城本町 電話三五〇番 森久本店 ねの安い品質保證の最經濟的『マッチ』は……ハネシカに限る

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 内科 小兒科 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り 醫學博士 古城憲治 岡山醫學士 上野亮藏

大阪商船仁川出帆
外航路所屬船(京畿航路を除く)出帆日時に於ける出港の時は五分引で諸符發賣仕候
▲神戶大阪行
×信ノ川丸 九月一日 日後二時出
×濟州丸 十月一日
×南山、神戶、大阪行
▲汕頭丸 十月七日 日後二時出
▲安東、釜山、廣島、門司、長崎行
×安東丸 十月十一日 日後二時出
×汕頭丸 九月廿九日 日後二時出
▲横濱行
×安東丸 十月十一日 日後二時出
△福州丸 月 日後二時出
▲南浦行
×濟州丸 九月 日後二時出
▲鎭南浦、大連行
安東丸 十月六日 後二時出
安東丸 十月廿四日 後二時出
▲西湖津新浦城津清津行(元山出)
安平丸 十月二日 後二時出
▲西湖津行(元山出帆)
宮島丸 十月八日 後三時出
▲上海、芝罘、打狗行(大連出帆)
湖北丸 九月 日後四時出
基隆丸 十月十三日 前五時出
御注意 ●御乘船の際は必ず切符御買求め下され度候 ●御乘船客は本船に御用の節は前以て御申込み下されたく候 ×印は一時間前に打切り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 一五八番 切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番 切符發賣所 仁川京城 開豐旅館 電話二六一番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶行
大有丸 九月三十日 日後四時出
大湖丸 九月 日後四時出
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸 九月十九日 正午出
高砂丸 十月十九日
三河丸 十月 日
仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

釜山出帆廣告
汽船
門司、神戶、大阪行
和歌浦丸 十月八日 日後五時出
立神丸 九月 日後五時出
○元山、清津、浦鹽行
和歌浦丸 九月 日後十時出
立神丸 十月七日 日後四時出
○第三琴平丸 元山、西湖、新浦、城津、清津行 月 日後六時出
○門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸 月 日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大鯨丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船 仁川出帆
本社 電話長一九五二、三二三番
京城南大門驛前 京城運送取扱店 京城本社代理店 本社外船と沿岸運送の便あり 松原運送店 電話長一二七〇
○關門より釜山名北經由雄基行 但し×印は江原道寄港せず
×京畿丸 十月十六日
×平壤丸 十月四日
×咸鏡丸 九月三十日) 釜山發
忠清丸 九月廿九日
○元山より各地經由雄基行
穩城丸 九月三十日
咸鏡丸 十月四日
忠清丸 十月二日) 元山發
○浦潮行(元山より城津清津經由)
平安丸 十月一日 元山發
○元山上浦經由
穩城丸 九月廿九日
成鏡丸 九月三十日
穩城丸 十月八日) 元山發
○清津經由
德壽丸 十月三日 釜山發
○浦項行(沿岸各地經由)
江陵丸 毎日 釜山發
○浦項行(沿岸各地經由)
蔚山丸 每日
○清津南浦行長承浦經由
昌平丸 十月廿九日 釜山發
○濟州島行(各地經由)
統營丸 毎日 釜山發
○麗水行(各地經由)
河東丸 毎日釜山發
○木浦麗水間(麗水にて釜山行接續)
南陽丸 三日目毎に木浦發
順天丸
○木浦より濟州島行名島經由
西湖丸 十月一日
東湖丸 十月七日) 木浦發
慶興丸 十月三日 木浦發
○鎭南浦行(海州其他各地經由)
宗信丸 十月二日 仁川發
○木浦行(群山其他各地經由)
麗水丸 十月八日 仁川發
晋州丸 十月二日
○海州行(江華島喬桐經由)
全州丸 毎日 仁川發
錦江丸
○青島行(芝罘、大連經由) 但し三十一日は休航
江原丸 十月十日 仁川發

第十六共同丸 十八日午後入港 廿八日後十時出帆 關東州行き
阿波共同汽船仁川出帆 芝罘、大連行
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 南大門通 電話二六八、二〇七番 山口回漕部 京城取次店 河村運送店

大阪期米特電 (十月限)
一、二十一圓九十八錢大阪前二十一圓十三錢…二十一圓九十八錢と押したるが押し
▲十月一日休業
▲仁川現物界
廿八日の十一月限 後場寄付 二十七圓五十錢 大引 二十七圓五十三錢
▲中旬氣象概況 本旬は支那方面に發達したる高氣壓の東進に從ひ一時的なりしも平年に比し中部は概れ五〇粍内外の不足なるに反し城津木浦は一〇〇粍内外の過剩となれり